

**地域ブランドの形成に向けて
北海道の魅力についてのアンケート調査研究報告書**

平成17年5月

釧路公立大学地域経済研究センター

はじめに

近年、地域政策の中で「地域ブランド」に対する関心が高まっています。「地域ブランド」が確立されることで、地域そのものや、地域の生産物の付加価値が高まり、観光や地域産業の発展、まちづくりの上でも、地域ブランドの形成は重要な政策課題の一つとなっています。その背景には、政府財政環境の厳しさにより従来のような資金配分的な手法によらない、言わば比較的資金がかからない政策として、地域ブランドに注目が集まっているとも考えられます。地域ブランド確立のためには、消費者がその地域に何を求めているのかを知り、そのニーズに合った地域づくり、製品づくりが必要です。従来地域政策は地域内に目を向けた政策が主でしたが、これからは地域に対する顧客の意識・動向を探っていくことも重要な取り組みとなります。

そこで、当センターでは、観光産業、地場産業の展開に当たって、そのかぎとなる地域ブランド戦略を構築していくためのマーケティングデータを得るために、北海道での滞在経験のある居住者が、北海道の主要観光地の魅力をどのように評価しているのかという視点で、「北海道の魅力についてのアンケート調査」を実施し、このたび自主研究報告書としてとりまとめました。

本調査は、地域ブランドを体系的に研究したものではなく、それに向けての手がかりを得るためのものです。北海道全体、及び各地域の観光戦略、地場産品づくり、まちづくり等の参考にしていただければ幸いです。また、今後各機関・各地域で、この取り組みを引き継いで発展していかれることを期待しております。

最後に本研究の機会を与えていただいた、釧路信用組合には心より感謝申し上げます。

平成17年5月

研究代表

釧路公立大学地域経済研究センター長
小磯 修二

目 次

I 調査の概要	1	IV 都市地域と自然・温泉地域別の評価	54
II 調査結果の概要	4	V 訪問意向による 各地域のポジショニング	56
1. 総合評価	4	VI 観光地としての項目別魅力度	58
2. 自然や風景の魅力	6	VII 全体のまとめ	59
3. 食の魅力	7		
4. 街並みの魅力	9		
5. 宿泊の魅力	10		
6. 買物・土産品の魅力	11		
7. 今後の訪問意向	12		
8. 今後の居留意向	13		
III 対象地域別調査結果	14		
1. 札幌市	14		
2. 函館市	16		
3. 小樽市	18		
4. 旭川市	20		
5. 大沼公園（七飯町）	22		
6. 洞爺湖（虻田町・壮瞥町）	24		
7. 登別市	26		
8. 層雲峡温泉（上川町）	28		
9. 知床（斜里町）	30		
10. 網走市	32		
11. 阿寒湖温泉（阿寒町）	34		
12. 釧路市	36		
13. 富良野市	38		
14. ニセコ（ニセコ町・倶知安町）	40		
15. 摩周湖・屈斜路湖（弟子屈町）	42		
16. 帯広市	44		
17. 美瑛町	46		
18. 十勝川温泉（音更町）	48		
19. 稚内市	50		
20. 大雪山（東川町）	52		

I 調査の概要

◎調査目的

これからの北海道における地域経営を進めていく上で、対外的に地域の価値を高めていくことが、特に観光産業、地場産業等の展開に当たって地域戦略的にも重要な課題となっており、いわゆる「地域ブランド」に対する注目が集まっている。しかしながら、地域ブランドとは何か、それを高めていく方策については、まだ手探りの状況であり、今後地域ブランドの形成に向けて取り組んでいくためには、単に成功、先行事例を追うだけではなく、北海道内のそれぞれの地域に対する認知、イメージ、魅力の態様、評価等についての実証的な現状の分析が不可欠であると思われる。

本調査においては、北海道における主要な観光地を選び、道外居住者による当該地域へのイメージ、魅力評価を行うことにより、今後の各地域における地域ブランドの創出、形成に向けての取り組みに資することを目的とする。

◎調査名

北海道の魅力についてのアンケート調査

◎調査対象

観光旅行やビジネスで3回以上の北海道訪問経験があるか、これまで北海道に1カ月以上の滞在経験がある、15歳以上の道外居住者 300人

◎調査方法

インターネット調査（全国にモニターを有するインターネット調査会社にて実施）

◎調査時期

予備調査 平成16年12月6・7日（月・火） ※対象者選定のためのスクリーニング

本調査 平成16年12月8・9日（水・木）

◎調査対象とした地域

平成15年度の北海道観光客入込数から道外客入込数と宿泊延数で共に上位になっている市町村を選定し、その市町村名よりも大沼公園や層雲峡温泉、知床など、観光名所として知られている地名については、市町村名ではなく、そちらを表記して（ ）内に市町村名を記載し、同様に洞爺湖（虻田町・壮瞥町）、ニセコ（ニセコ町・倶知安町）は観光名所として知られているため、一つの地域としてくくり、以下の道内20地域を対象とし、調査を行った。

<対象地域>

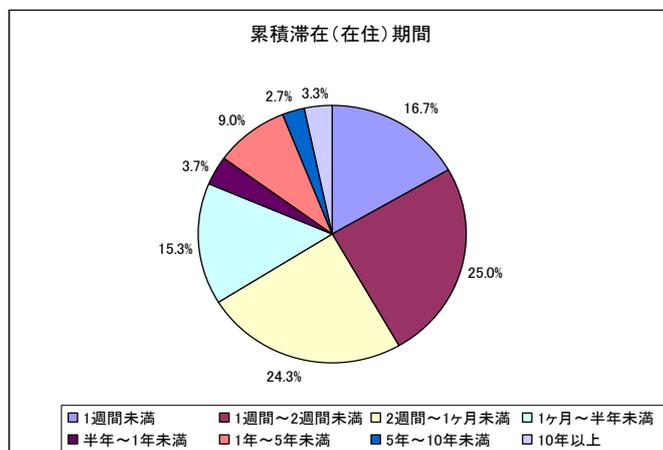
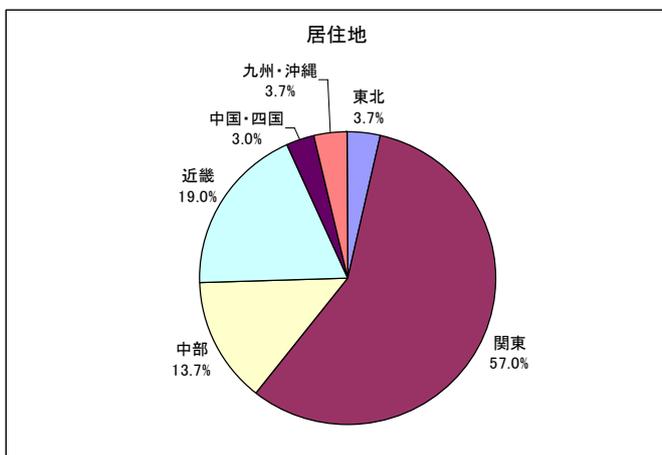
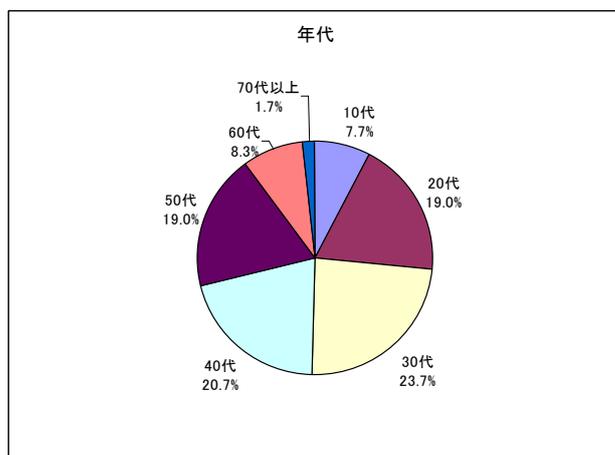
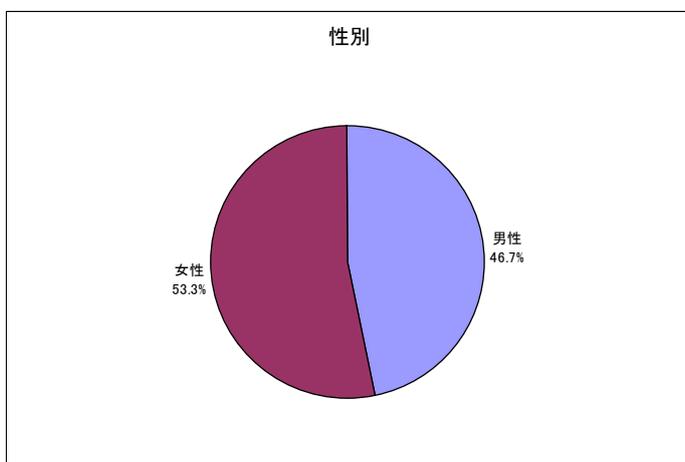
- ①札幌市 ②函館市 ③小樽市 ④旭川市 ⑤大沼公園（七飯町）
⑥洞爺湖（虻田町・壮瞥町） ⑦登別市 ⑧層雲峡温泉（上川町） ⑨知床（斜里町）
⑩網走市 ⑪阿寒湖温泉（阿寒町） ⑫釧路市 ⑬富良野市
⑭ニセコ（ニセコ町・倶知安町） ⑮摩周湖・屈斜路湖（弟子屈町） ⑯帯広市
⑰美瑛町 ⑱十勝川温泉（音更町） ⑲稚内市 ⑳大雪山（東川町）

◎評価項目（調査内容）

「自然や風景の魅力」、「食の魅力」、「街並みの魅力」、「宿泊の魅力」、「買物・土産品の魅力」、「今後訪問したいと思うか（訪問意向）」、「今後住んでみたいと思うか（居住意向）」の7項目について5段階で評価してもらった。なお、過去、各地域への訪問経験の有無についても回答を求めた。

◎対象者の属性

調査対象者はモニターの中から、男女、年代、居住地などの属性について、バランスをとりながら選定した。性別は「女性」53.3%、男性 46.7%、年代は、「10代」7.7%、「20代」19.0%、「30代」23.7%、「40代」20.7%、「50代」19.0%、「60代」8.3%、「70代以上」1.7%となっている。また、居住地は「関東が」57.0%と多く、次いで「近畿」19.0%、「中部」13.7%となっている。累積滞在（居住）期間は、「1週間未満」16.7%、「1週間～2週間未満」25.0%、「2週間～1ヶ月未満」24.3%、「1ヶ月～半年未満」15.3%と、8割以上が半年未満の対象者となっており、回答者の多くが観光客で北海道を訪問した人と推察できる。



II 調査結果の概要

1. 総合評価

右表は、「自然や風景の魅力」、「食の魅力」、「街並みの魅力」、「宿泊の魅力」、「買物・土産品の魅力」、「今後訪問したいと思うか（訪問意向）」、「今後住んでみたいと思うか（居留意向）」の7項目について、5段階評価を良い順から2、1、0、-1、-2として得点化し、それらを足し合わせた合計の総合評価の順位である。函館市、小樽市、札幌市などの都市がベスト3となっており、テレビ番組等で認知度の高い富良野市、世界自然遺産登録に期待がかかる知床、美しい摩周湖・屈斜路湖など、自然景観の魅力が評価されていると思われる地域も上位に食い込んでいる。各地域の得点を見ると、ベスト3の函館市、小樽市、札幌市が2千点を超え、他地域を大きく引き離していることが分かる。北海道を訪問し、北海道で滞在する人々にとって、魅力空間としての都市の役割は、予想以上に大きいものがあると推測される。大自然の魅力が人気と思われる北海道観光だが、今後の観光政策においては、都市観光への取り組み、あるいは都市観光との連携が重要な課題になると考えられる。

<総合評価全体>

	地域名	総合
1	函館市	2453
2	小樽市	2234
3	札幌市	2052
4	富良野市	1217
5	知床(斜里町)	858
6	摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	757
7	阿寒湖温泉(阿寒町)	613
8	ニセコ(ニセコ町・倶知安町)	528
9	洞爺湖(虻田町・壮瞥町)	492
10	層雲峡温泉(上川町)	491
11	美瑛町	441
12	釧路市	439
13	旭川市	383
14	登別市	362
15	十勝川温泉(音更町)	250
16	稚内市	220
17	大雪山(東川町)	158
18	帯広市	133
19	網走市	57
20	大沼公園(七飯町)	52

下表は、その地域を訪問した経験のある人となない人との評価について、全項目での評価を比較したものである（なお、下表の数値は、各地域の訪問経験の有無の人数がまちまちのため、同数になるように調整した。以下、訪問経験の有無についてはすべて同様）。訪問経験のない人の場合はイメージの評価が高いということになり、訪問経験のある人は実際に行ってみてよかったという評価になると考えられる。

ベスト4は訪問経験がある場合もない場合も、前ページの全体総合評価と同様で、イメージの高さ、行ってみたいの評価がともに高いと想定される。また、美瑛町やニセコ、釧路市、稚内市、大雪山、帯広市、大沼公園などは、訪問したことで、順位が上位に移動し、評価が高まった地域といえる。一方、摩周湖・屈斜路湖、層雲峡、旭川市、十勝川温泉、網走市などは、訪問経験のない人での評価が高く、イメージ評価が高いと考えられる。

＜総合評価：訪問経験の有無別＞

	地域名	訪問経験有	地域名	訪問経験無
1	函館市	1292.8	函館市	982.0
2	小樽市	1189.7	小樽市	869.1
3	札幌市	1040.8	札幌市	487.5
4	富良野市	770.9	富良野市	427.8
5	知床(斜里町)	620.5	摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	358.0
6	美瑛町	572.0	知床(斜里町)	306.6
7	ニセコ(ニセコ町・倶知安町)	428.1	阿寒湖温泉(阿寒町)	250.3
8	摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	394.6	層雲峡温泉(上川町)	150.9
9	釧路市	377.7	ニセコ(ニセコ町・倶知安町)	138.5
10	阿寒湖温泉(阿寒町)	361.2	洞爺湖(虻田町・壮瞥中尾)	134.2
11	層雲峡温泉(上川町)	358.0	旭川市	119.1
12	稚内市	339.9	十勝川温泉(音更町)	106.4
13	洞爺湖(虻田町・壮瞥町)	335.0	釧路市	79.2
14	登別市	303.0	登別市	55.7
15	大雪山(東川町)	295.4	稚内市	27.8
16	帯広市	270.3	美瑛町	25.6
17	旭川市	251.5	大雪山(東川町)	19.1
18	大沼公園(七飯町)	218.6	網走市	-29.6
19	十勝川温泉(音更町)	200.8	帯広市	-44.8
20	網走市	84.3	大沼公園(七飯町)	-98.9

2. 自然や風景の魅力

「自然や風景の魅力」では、摩周湖・屈斜路、富良野市、知床と、総合評価で上位となった地域が全体のベスト3となっており、これらの地域は、訪問経験の有無にかかわらず高い評価を得ている。また、大雪山や大沼公園などは、訪問したことで自然や風景への評価が高まった地域と考えられる。一方、訪問経験がない人が、ある人よりも評価が高い函館市や洞爺湖、小樽市などは、ややイメージが強いと考えられる。

<自然や風景の魅力>

	地域名	全体	地域名	訪問有	地域名	訪問無
1	摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	441	摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	237.5	摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	198.9
2	富良野市	383	知床(斜里町)	233.3	知床(斜里町)	163.9
3	知床(斜里町)	382	大雪山(東川町)	221.5	富良野市	160.6
4	函館市	356	富良野市	219.3	函館市	145.3
5	阿寒湖温泉(阿寒町)	339	層雲峡温泉(上川町)	209.1	阿寒湖温泉(阿寒町)	140.9
6	洞爺湖(虻田町・壮瞥町)	330	美瑛町	201.9	洞爺湖(虻田町・壮瞥町)	129.7
7	小樽市	326	阿寒湖温泉(阿寒町)	197.4	小樽市	116.9
8	層雲峡温泉(上川町)	299	洞爺湖(虻田町・壮瞥町)	193.1	大雪山(東川町)	112.3
9	大雪山(東川町)	272	函館市	186.9	層雲峡温泉(上川町)	99.4
10	ニセコ(ニセコ町・倶知安町)	249	大沼公園(七飯町)	185.6	ニセコ(ニセコ町・倶知安町)	88.2
11	美瑛町	238	小樽市	176.5	網走市	82.7
12	大沼公園(七飯町)	226	ニセコ(ニセコ町・倶知安町)	171.9	登別市	78.0
13	登別市	202	登別市	123.4	美瑛町	73.1
14	網走市	179	稚内市	115.8	大沼公園(七飯町)	65.9
15	釧路市	173	釧路市	110.6	釧路市	65.1
16	札幌市	160	十勝川温泉(音更町)	106.8	十勝川温泉(音更町)	60.4
17	稚内市	149	網走市	96.1	稚内市	59.7
18	十勝川温泉(音更町)	139	札幌市	82.7	帯広市	40.2
19	帯広市	108	帯広市	79.2	旭川市	27.6
20	旭川市	100	旭川市	68.6	札幌市	-18.8

3. 食の魅力

「食の魅力」では、函館市、小樽市、札幌市、旭川市、釧路市など、都市部の評価が高く、多様な食を味わえる都市の機能が評価されているように感じる。また、旭川を除いては、函館の朝市、小樽の三角市場、札幌の二条市場、釧路の和商市場など、観光客が立ち寄る市場も多いことから、こうしたイメージも影響しているのではないかと考えられる。

北海道の食は、全国的にも評価が高く、財団法人日本交通公社が行っている『旅行者動向 2004』では、北海道がグルメ（おいしいものを食べる旅行）で行ってみたい旅行先のナンバー1となっている。しかし、その一方で、居住意向を除いた6項目の平均点（全体）を割り出してみると、「自然や風景の魅力」が252.6点、「食の魅力」が85.8点、「街並みの魅力」が87.8点、「宿泊の魅力」が150.1点、「買物・土産品の魅力」が113.1点、「訪問意向」が258.4点と、「食の魅力」がもっとも低い。北海道への食の期待の高さから、他の項目ほど、高い評価得点には至らなかったのではないかと考えられる。また、今回の調査では、阿寒湖温泉（阿寒町）、層雲峡温泉（上川町）、摩周湖・屈斜路湖（弟子屈町）、登別市、大雪山（東川町）、洞爺湖（虻田町・壮瞥町）、大沼公園（七飯町）などの温泉地の評価がマイナスとなっており、こうした評価も平均点を下げている要因と思われる。温泉地への食の評価で、訪問することでプラスに転じているのは阿寒湖温泉のみで、温泉地における食の魅力づくりは、今後の課題といえそうだ。

<食の魅力>

	地域名	全体	地域名	経験有	地域名	経験無
1	函館市	436	函館市	231.4	小樽市	174.3
2	小樽市	424	小樽市	223.1	函館市	168.8
3	札幌市	415	札幌市	210.1	札幌市	112.5
4	旭川市	159	知床(斜里町)	103.8	旭川市	70.6
5	釧路市	124	釧路市	97.9	知床(斜里町)	34.4
6	知床(斜里町)	123	稚内市	93.0	釧路市	30.2
7	稚内市	85	旭川市	86.9	稚内市	24.4
8	富良野市	58	帯広市	63.7	十勝川温泉(音更町)	14.9
9	網走市	48	網走市	52.0	富良野市	6.3
10	帯広市	48	富良野市	49.4	帯広市	2.3
11	十勝川温泉(音更町)	24	美瑛町	33.6	美瑛町	-0.8
12	美瑛町	23	二セコ(二セコ・倶知安町)	24.2	網走市	-5.1
13	二セコ(二セコ町・倶知安町)	2	阿寒湖温泉(阿寒町)	6.9	阿寒湖温泉(阿寒町)	-8.1
14	阿寒湖温泉(阿寒町)	-1	十勝川温泉(音更町)	0.0	摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	-14.8
15	層雲峡温泉(上川町)	-22	層雲峡温泉(上川町)	-4.4	層雲峡温泉(上川町)	-16.6
16	摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	-35	登別市	-13.8	二セコ(二セコ・倶知安町)	-16.8
17	登別市	-36	大雪山(東川町)	-16.2	登別市	-22.3
18	大雪山(東川町)	-45	洞爺湖(虻田町・壮瞥町)	-16.2	大雪山(東川町)	-24.3
19	洞爺湖(虻田町・壮瞥町)	-47	摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	-19.6	洞爺湖(虻田町・壮瞥町)	-32.7
20	大沼公園(七飯町)	-68	大沼公園(七飯町)	-20.3	大沼公園(七飯町)	-42.9

4. 街並みの魅力

街並みの魅力では、総合評価でベスト4となった函館市、小樽市、札幌市、富良野市が、全体でも訪問経験の有無別でもベスト4となった。大沼公園や釧路市、帯広市などは、訪問経験のある人で順位が上がり、これらの地域では訪問したことで評価が高まった魅力の要素といえる。一方、洞爺湖や知床などは訪問経験のない人の方が順位が高く、期待の高さもあり、ややイメージが先行している魅力の要素と考えられる。街並みへの評価は、特に訪問経験がない人でマイナス評価が見られており、今後のイメージアップが必要な地域がいくつか見受けられる。その一方で、訪問経験のある人では、マイナス評価のある地域は見られないため、訪問することで、プラスに転じ、来訪をうながすことがイメージアップにつながると思われる。

<街並みの魅力>

	地域名	全体	地域名	訪問有	地域名	訪問無
1	函館市	446	函館市	228.8	函館市	201.6
2	小樽市	425	小樽市	226.3	小樽市	165.4
3	札幌市	364	札幌市	185.4	札幌市	56.3
4	富良野市	150	富良野市	104.4	富良野市	42.3
5	美瑛町	65	美瑛町	78.5	洞爺湖(虻田町・壮瞥町)	25.9
6	旭川市	53	大沼公園(七飯町)	53.4	旭川市	21.0
7	摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	46	釧路市	33.0	摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	18.2
8	洞爺湖(虻田町・壮瞥町)	45	帯広市	32.5	知床(斜里町)	18.0
9	ニセコ(ニセコ町・倶知安町)	40	ニセコ(ニセコ町・倶知安町)	32.3	ニセコ(ニセコ・倶知安町)	10.6
10	大沼公園(七飯町)	39	旭川市	31.1	層雲峡温泉(上川町)	7.4
11	知床(斜里町)	39	摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	26.8	阿寒湖温泉(阿寒町)	7.1
12	阿寒湖温泉(阿寒町)	28	大雪山(東川町)	25.4	美瑛町	7.0
13	釧路市	28	知床(斜里町)	21.8	登別市	-2.0
14	層雲峡温泉(上川町)	24	稚内市	20.9	大沼公園(七飯町)	-2.5
15	登別市	18	阿寒湖温泉(阿寒町)	20.7	釧路市	-2.8
16	帯広市	10	洞爺湖(虻田町・壮瞥町)	19.8	十勝川温泉(音更町)	-9.3
17	網走市	-11	登別市	19.7	帯広市	-10.1
18	十勝川温泉(音更町)	-15	層雲峡温泉(上川町)	17.5	網走市	-16.3
19	稚内市	-17	網走市	4.9	稚内市	-19.0
20	大雪山(東川町)	-21	十勝川温泉(音更町)	0.0	大雪山(東川町)	-20.4

5. 宿泊の魅力

「宿泊の魅力」では全体のベスト3は総合評価と同様で、函館市、小樽市、札幌市となった。また、層雲峡温泉や阿寒湖温泉、洞爺湖、登別市など、温泉地域もベスト10内に食い込んでおり、温泉旅行の人気も定着していると見られる。訪問経験の有無別では、阿寒湖温泉や摩周湖などは訪問経験のない人で順位が高く、好イメージが定着しているようだ。一方で、札幌市や登別市などは、訪問した人で順位が上がり、訪問したことで評価が高まったと見られる。ただ、訪問経験のある人とない人を比べると、全般的に得点がアップしており、北海道に訪問することでイメージがアップすると考えられる。

<宿泊の魅力>

	地域名	全体	地域名	訪問有	地域名	訪問無
1	函館市	349	函館市	179.2	函館市	157.0
2	小樽市	290	小樽市	152.6	小樽市	119.1
3	札幌市	273	層雲峡温泉(上川町)	151.1	阿寒湖温泉	94.3
4	層雲峡温泉(上川町)	234	札幌市	139.2	摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	89.8
5	阿寒湖温泉(阿寒町)	216	洞爺湖(虻田町・壮瞥町)	127.5	層雲峡温泉(上川町)	88.3
6	富良野市	207	登別市	127.3	富良野市	77.1
7	洞爺湖(虻田町・壮瞥町)	193	富良野市	127.2	知床(斜里町)	73.0
8	登別市	192	阿寒湖温泉(阿寒町)	121.4	十勝川温泉(音更町)	72.2
9	知床(斜里町)	182	知床(斜里町)	119.2	ニセコ(ニセコ町・倶知安町)	67.9
10	摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	174	ニセコ(ニセコ町・倶知安町)	106.2	登別市	63.9
11	ニセコ(ニセコ町・倶知安町)	169	十勝川温泉(音更町)	94.1	洞爺湖(虻田町・壮瞥町)	57.5
12	十勝川温泉(音更町)	153	大雪山(東川町)	85.4	札幌市	37.5
13	大雪山(東川町)	87	摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	84.8	大雪山(東川町)	31.9
14	釧路市	71	美瑛町	74.3	釧路市	19.8
15	美瑛町	63	大沼公園(七飯町)	57.2	旭川市	9.9
16	大沼公園(七飯町)	52	釧路市	53.2	美瑛町	7.8
17	旭川市	50	稚内市	45.6	大沼公園	5.8
18	稚内市	32	旭川市	37.5	稚内市	5.4
19	帯広市	19	帯広市	34.0	帯広市	-3.9
20	網走市	-4	網走市	2.0	網走市	-6.1

6. 買物・土産品の魅力

「買物・土産品の魅力」でもベスト4は総合評価と同様で、函館市、小樽市、札幌市、富良野市となった。訪問経験のない人で6位となっている旭川市が訪問経験のある人では11位と順位を落としており、また、ニセコも9位から14位と順位を落としているのが目立つ。一方、美瑛町は訪問経験のない人では16位だが、訪問経験のある人では6位と順位を上げ、釧路市も10位から7位に順位を上げて、訪問することで好評価につながっている地域といえる。しかし、訪問経験がある人とない人では、全般的に得点が上がっており、北海道を訪問することでイメージがアップすると考えられる。

<買物・土産品の魅力>

	地域名	全体	地域名	訪問有	地域名	訪問無
1	函館市	407	函館市	213.6	函館市	166.4
2	小樽市	380	小樽市	201.7	小樽市	150.0
3	札幌市	360	札幌市	182.4	札幌市	93.8
4	富良野市	197	富良野市	120.6	富良野市	73.9
5	摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	108	知床(斜里町)	91.0	摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	58.0
6	知床(斜里町)	106	美瑛町	68.7	旭川市	40.8
7	旭川市	94	釧路市	66.0	知床(斜里町)	28.7
8	釧路市	89	阿寒湖温泉(阿寒町)	58.2	阿寒湖温泉(阿寒町)	28.4
9	阿寒湖温泉(阿寒町)	87	稚内市	55.1	ニセコ(ニセコ町・倶知安町)	27.4
10	ニセコ(ニセコ町・倶知安町)	72	帯広市	53.8	釧路市	25.5
11	登別市	62	旭川市	52.1	網走市	21.4
12	美瑛町	62	摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	50.9	稚内市	17.6
13	網走市	61	登別市	50.3	洞爺湖(虻田町・壮瞥町)	15.8
14	稚内市	55	ニセコ(ニセコ町・倶知安町)	47.3	十勝川温泉(音更町)	12.4
15	洞爺湖(虻田町・壮瞥町)	51	網走市	39.2	登別市	11.1
16	帯広市	46	洞爺湖(虻田町・壮瞥町)	33.2	美瑛町	10.1
17	十勝川温泉(音更町)	23	大雪山(東川町)	27.7	帯広市	6.2
18	層雲峡温泉(上川町)	20	層雲峡温泉(上川町)	19.7	層雲峡温泉(上川町)	1.8
19	大雪山(東川町)	5	十勝川温泉(音更町)	7.6	大雪山(東川町)	-4.5
20	大沼公園(七飯町)	-23	大沼公園(七飯町)	1.3	大沼公園(七飯町)	-19.8

7. 今後の訪問意向

「今後訪問したいと思うか（訪問意向）」の問いでは、総合評価のベスト5と同様の地域が全体で上位5を占めた。訪問経験のない人では17位であった美瑛町が、訪問経験のある人の中では第6位に順位を大きく上げ、訪問したことで魅力を実感した人が多くいたと推測される。また、稚内市も順位を14位から10位に上げ、訪問したことで魅力を実感した地域といえる。一方、阿寒湖温泉は訪問経験のない人で7位だったのが、訪問経験がある人では14位と順位を下げ、得点も訪問経験のある人はない人を下回っているため、リピートをうながす魅力に欠けているのではないかと推測できる。全般的には、訪問経験のある人がない人の得点を上回る傾向があり、一度訪問することで、また行ってみたいと思う傾向があると考えられる。

<今後訪問したいと思うか（訪問意向）>

	地域名	全体	地域名	訪問有	地域名	訪問無
1	函館市	465	函館市	232.6	函館市	232.0
2	小樽市	450	小樽市	228.2	小樽市	214.0
3	札幌市	421	札幌市	211.1	札幌市	187.5
4	富良野市	359	富良野市	186.1	富良野市	172.2
5	知床(斜里町)	321	知床(斜里町)	178.2	摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	163.6
6	摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	317	美瑛町	169.6	知床(斜里町)	149.2
7	阿寒湖温泉(阿寒町)	261	摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	154.5	阿寒湖温泉(阿寒町)	142.9
8	層雲峡温泉(上川町)	257	ニセコ(ニセコ町・倶知安町)	144.2	層雲峡温泉(上川町)	123.3
9	ニセコ(ニセコ町・倶知安町)	243	層雲峡温泉(上川町)	134.7	洞爺湖(虻田町・壮瞥町)	104.9
10	洞爺湖(虻田町・壮瞥町)	237	稚内市	132.9	ニセコ(ニセコ町・倶知安町)	104.1
11	美瑛町	218	洞爺湖(虻田町・壮瞥町)	129.3	十勝川温泉(音更町)	100.8
12	登別市	211	大雪山(東川町)	129.2	釧路市	97.2
13	稚内市	210	登別市	123.4	大雪山(東川町)	95.7
14	大雪山(東川町)	206	阿寒湖温泉(阿寒町)	118.4	稚内市	95.0
15	釧路市	204	釧路市	107.4	登別市	87.2
16	十勝川温泉(音更町)	202	十勝川温泉(音更町)	101.7	旭川市	78.3
17	旭川市	173	帯広市	99.1	美瑛町	75.4
18	帯広市	144	旭川市	93.3	網走市	72.4
19	大沼公園(七飯町)	135	大沼公園(七飯町)	86.4	帯広市	57.2
20	網走市	133	網走市	60.8	大沼公園(七飯町)	55.2

8. 今後の居住意向

「今後住んでみたいと思うか（居住意向）」の問いについては、他の項目の得点と比較して得点が大きく下がり、多くの地域がマイナス得点となっている。このことは、行ってみたいと思うことと、住んでみたいと思うことに対しては動機付けが大きく違っていることを意味している。しかし、全体の順位を見ると、居住地としての優位性から都市部がやや順位を上げているものの、全体としては観光地の評価と強い相関があることが読み取れる。訪問経験がある人とない人を比べると、多くの地域で、ない人よりもある人の得点がアップしており、訪問したことで、住んでもいいと思う傾向がやや高まったと推測できる。これらの点から、今後北海道において道外からの移住の取り組みを進めていく上で、観光政策と連携しながら取り組むことが有効であると思われる。

<今後住んでみたいと思うか（居住意向）>

	地域名	全体	地域名	訪問有	地域名	訪問無
1	札幌市	59	札幌市	29.8	札幌市	18.8
2	函館市	-6	函館市	20.3	小樽市	-70.6
3	小樽市	-61	小樽市	-18.8	函館市	-89.1
4	富良野市	-137	富良野市	-36.1	富良野市	-104.6
5	美瑛町	-228	美瑛町	-54.7	旭川市	-129.0
6	帯広市	-242	釧路市	-90.4	帯広市	-136.9
7	旭川市	-246	帯広市	-92.0	ニセコ(ニセコ町・倶知安町)	-142.9
8	ニセコ(ニセコ町・倶知安町)	-247	ニセコ(ニセコ町・倶知安町)	-98.1	十勝川温泉(音更町)	-145.0
9	釧路市	-250	十勝川温泉(音更町)	-109.3	美瑛町	-146.9
10	十勝川温泉(音更町)	-276	旭川市	-118.0	層雲峡温泉(上川町)	-152.8
11	登別市	-287	稚内市	-123.4	阿寒湖温泉(阿寒町)	-155.1
12	摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	-294	知床(斜里町)	-126.9	稚内市	-155.4
13	稚内市	-294	登別市	-127.3	釧路市	-155.7
14	知床(斜里町)	-295	摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	-140.2	摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	-155.7
15	大沼公園(七飯町)	-309	大沼公園(七飯町)	-144.9	登別市	-160.1
16	洞爺湖(虻田町・壮瞥町)	-317	洞爺湖(虻田町・壮瞥町)	-151.8	知床(斜里町)	-160.7
17	阿寒湖温泉(阿寒町)	-317	阿寒湖温泉(阿寒町)	-161.8	大沼公園(七飯町)	-160.7
18	層雲峡温泉(上川町)	-321	層雲峡温泉(上川町)	-169.7	洞爺湖(虻田町・壮瞥町)	-166.9
19	大雪山(東川町)	-346	網走市	-170.6	大雪山(東川町)	-171.7
20	網走市	-349	大雪山(東川町)	-177.7	網走市	-178.6

Ⅲ 対象地域別調査結果

1. 札幌市

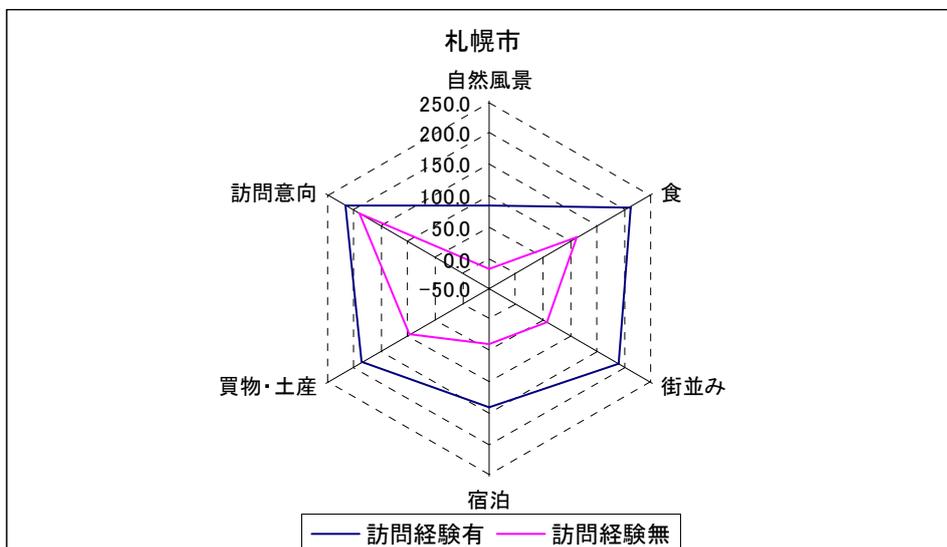
札幌市は、総合評価で第3位となっているが、訪問経験の有無別による評価でも右図のように、訪問経験がある人はいない人よりも訪問意向が高く、観光面では今後発展が期待できる地域といえる。

右表を見ると、「街並みの魅力」の評価が訪問経験のない人とある人でもっとも差が大きく、「街並みの魅力」は潜在性のある観光資源であると考えられる。また、「宿泊の魅力」や「自然や風景の魅力」の差も大きく、宿泊では、安価なビジネスホテルから高級感のあるホテル、温泉付きホテルなど、多様な宿泊施設のあることが評価されているのではないかと推測される。「自然や風景の魅力」についても、都市でありながら自然豊かな環境が評価されていると考えられる。

一方、「今後住んでみたいか（居留意向）」は訪問経験の有無によってもっとも差が小さく、イメージと現実との差がそれほど大きくないと想定される。

上の表について、居留意向を除いた項目を取り上げてレーダーチャートで表したものが右図である。全体のバランスでは、「自然や風景の魅力」や「宿泊の魅力」がやや低いものの、訪問経験のある人は一般的に訪問経験のない人よりも評価が高まっており、訪問経験のない人では、ややバランスに欠けていた六つの魅力の要素が、訪問したことでバランスよく評価される傾向にあると考えられる。

	訪問経験有	訪問経験無	得点差(有-無)
自然風景	82.7	-18.8	101.5
食	210.1	112.5	97.6
街並み	185.4	56.3	129.2
宿泊	139.2	37.5	101.7
買物・土産	182.4	93.8	88.6
訪問意向	211.1	187.5	23.6
居留意向	29.8	18.8	11.0



は、ややバランスに欠けていた六つの魅力の要素が、訪問したことでバランスよく評価される傾向にあると考えられる。

性別や年代、居住地など、属性別の回答割合を、5段階評価の良い順から2、1、0、-1、-2と得点化したものが以下の表である。回答者数が少ないと数値が偏る傾向が見られるため、一概にはいえないが、10～40代の若年層・実年層では「食の魅力」が、60代以上の高齢者層では「街並みの魅力」が評価されており、また、居住地別では、関東、中国・四国、九州・沖縄などから「食の魅力」が評価されている。累積滞在期間では、1カ月以上を超えて長期に滞在した経験がある人の食への評価が高く、リピート訪問などで何度も足を運んでいる人から高く評価されていると推測でき、食のバラエティの豊かさなどが評価されているのではないかと考えられる。

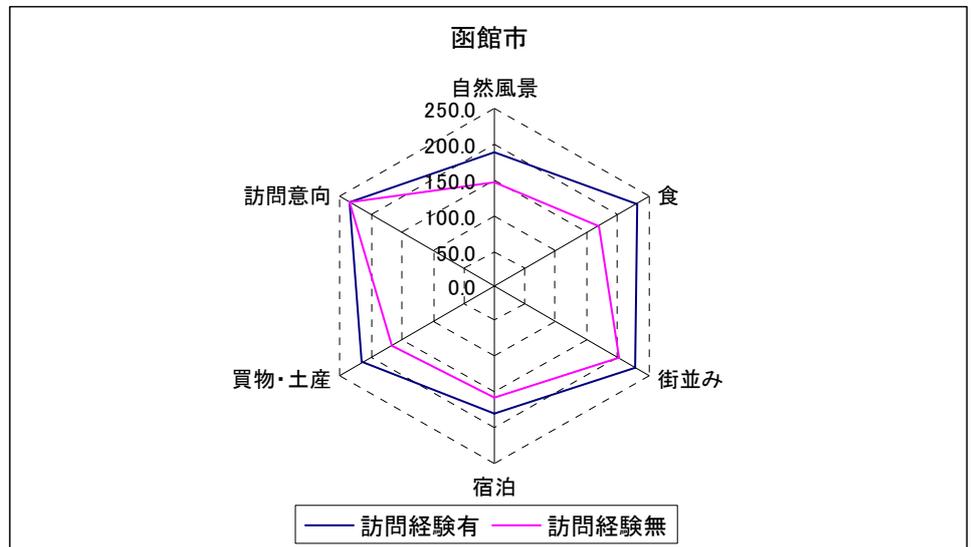
			自然風景	食	街並み	宿泊	買物土産品	訪問意向	居住意向
		札幌市全体	0.533	1.383	1.213	0.910	1.200	1.403	0.197
性別	1	男性(46.7%)	0.564	1.229	1.207	1.000	1.121	1.371	0.421
	2	女性(53.3%)	0.506	1.519	1.219	0.831	1.269	1.431	0.000
年代	1	10代(7.7%)	1.043	1.652	1.565	1.174	1.478	1.565	0.652
	2	20代(19.0%)	0.596	1.421	1.263	0.965	1.316	1.474	0.123
	3	30代(23.7%)	0.254	1.380	1.127	0.930	1.169	1.366	0.282
	4	40代(20.7%)	0.452	1.419	1.065	1.097	1.355	1.419	0.161
	5	50代(19.0%)	0.386	1.193	1.140	0.596	0.877	1.316	0.088
	6	60代(8.3%)	1.120	1.440	1.480	0.680	1.080	1.360	0.120
	7	70代以上(1.7%)	1.200	1.200	1.600	1.200	1.400	1.400	-0.200
居住地	1	東北(3.7%)	0.545	1.545	1.091	0.818	1.545	1.727	0.909
	2	関東(57.0%)	0.550	1.450	1.193	0.901	1.246	1.404	0.187
	3	中部(13.7%)	0.561	1.122	1.268	0.805	0.976	1.439	0.049
	4	近畿(19.0%)	0.456	1.263	1.246	1.000	1.158	1.316	0.070
	5	中国・四国(3.0%)	0.444	1.444	1.111	0.444	0.889	1.222	0.000
	6	九州・沖縄(3.7%)	0.636	1.727	1.364	1.455	1.455	1.545	1.000
累積滞在(居住)期間	1	1週間未満(16.7%)	0.740	1.520	1.440	1.140	1.440	1.640	0.380
	2	1週間～2週間未満(25.9%)	0.293	1.347	1.187	0.693	1.147	1.360	-0.173
	3	2週間～1ヶ月未満(24.3%)	0.342	1.288	1.055	0.781	1.068	1.301	-0.068
	4	1ヶ月～半年未満(15.3%)	0.543	1.478	1.261	1.087	1.370	1.326	0.543
	5	半年～1年未満(3.7%)	1.091	1.455	1.273	1.000	0.909	1.273	0.182
	6	1年～5年未満(9.0%)	0.778	1.259	1.148	0.963	1.000	1.444	0.519
	7	5年～10年未満(2.7%)	0.750	1.625	1.125	1.125	1.375	1.625	0.625
	8	10年以上(3.3%)	1.200	1.300	1.400	1.100	1.300	1.500	1.200

2. 函館市

函館市は、総合評価でトップとなっている。右表の訪問経験の有無で見ても、訪問経験のある人が訪問経験のない人の評価を下回っている項目はなく、訪問した人の期待を大きく裏切る評価は出ていないと考えられる。訪問経験がある人は居住意向も高くなり、全般的にまずまずの評価を得ているといえるだろう。

レーダーチャートでは、各項目でバランスよく評価されており、観光地としては観光資源の評価に偏りが無いことが感じられる。また、訪問経験の有無によるイメージの大きな齟齬もないと推測される。

	訪問経験有	訪問経験無	得点差(有-無)
自然風景	186.9	145.3	41.6
食	231.4	168.8	62.6
街並み	228.8	201.6	27.3
宿泊	179.2	157.0	22.2
買物・土産	213.6	166.4	47.2
訪問意向	232.6	232.0	0.6
居住意向	20.3	-89.1	109.4



属性別の評価では、男女ともに訪問意向が高く、累積滞在（居住）期間別では、半年以上の累積滞在（居住）期間がある人では「食の魅力」が評価されている。また、「街並みの魅力」では各年代層にまんべんなく評価されている傾向が見られる。一つの資源にのみ頼るのではなく、幅広く訪問客に受け入れられている地域と推測される。

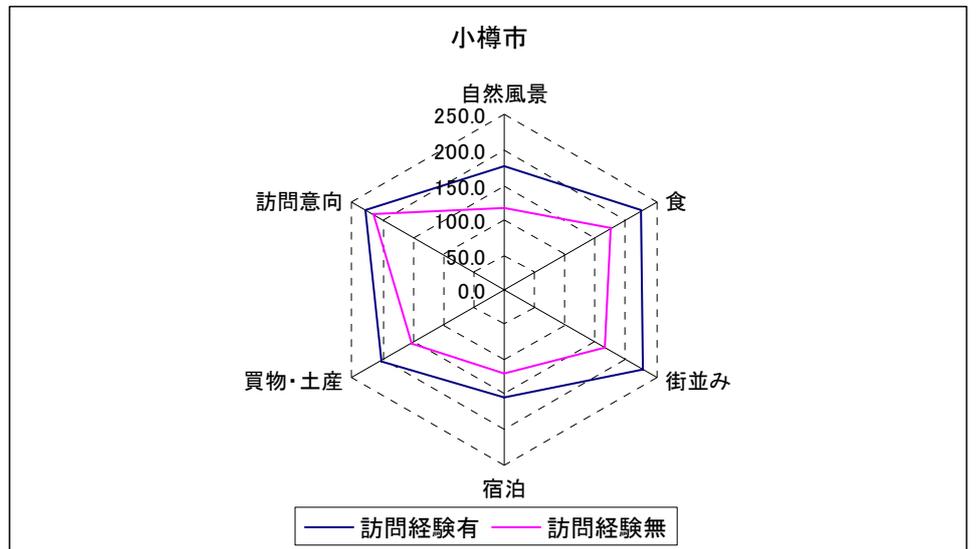
			自然・風景	食	街並み	宿泊	買物土産品	訪問意向	居住意向
		函館市全体	1.187	1.453	1.467	1.163	1.357	1.550	-0.020
性別	1	男性(46.7%)	1.100	1.364	1.379	1.136	1.336	1.507	0.243
	2	女性(53.3%)	1.263	1.531	1.544	1.188	1.375	1.588	-0.250
年代	1	10代(7.7%)	1.130	1.261	1.391	0.913	1.261	1.391	0.217
	2	20代(19.0%)	1.035	1.491	1.404	1.070	1.263	1.596	-0.193
	3	30代(23.7%)	1.113	1.408	1.535	1.141	1.380	1.366	-0.225
	4	40代(20.7%)	1.323	1.597	1.419	1.306	1.371	1.645	0.065
	5	50代(19.0%)	1.158	1.351	1.474	1.246	1.439	1.684	0.140
	6	60代(8.3%)	1.400	1.600	1.520	1.080	1.320	1.600	0.120
	7	70代以上(1.7%)	1.800	1.200	1.800	1.400	1.600	1.400	0.200
居住地	1	東北(3.7%)	1.545	1.636	1.636	1.273	1.727	1.636	0.545
	2	関東(57.0%)	1.228	1.550	1.485	1.181	1.357	1.509	-0.076
	3	中部(13.7%)	1.073	1.195	1.390	1.049	1.293	1.585	-0.317
	4	近畿(19.0%)	1.070	1.368	1.439	1.140	1.333	1.649	0.123
	5	中国・四国(3.0%)	1.000	1.111	1.333	0.889	1.000	1.222	0.000
	6	九州・沖縄(3.7%)	1.364	1.455	1.545	1.545	1.636	1.727	0.636
累積滞在(居住)期間	1	1週間未満(16.7%)	1.280	1.380	1.700	1.260	1.520	1.640	-0.060
	2	1週間～2週間未満(25.9%)	1.173	1.440	1.453	0.987	1.253	1.573	-0.253
	3	2週間～1ヶ月未満(24.3%)	1.096	1.548	1.301	1.205	1.425	1.575	0.000
	4	1ヶ月～半年未満(15.3%)	1.196	1.283	1.587	1.261	1.370	1.543	0.239
	5	半年～1年未満(3.7%)	1.364	1.636	1.455	1.000	1.273	1.545	0.182
	6	1年～5年未満(9.0%)	1.111	1.481	1.370	1.074	0.926	1.444	-0.074
	7	5年～10年未満(2.7%)	1.250	2.000	1.500	1.625	1.875	1.500	1.000
	8	10年以上(3.3%)	1.400	1.300	1.300	1.300	1.600	1.100	-0.300

3. 小樽市

小樽市は、訪問経験のある人がない人の評価を下回る項目はなく、いずれも一定の評価を得ていると推測できる。訪問経験のある人とない人では「街並みの魅力」や「自然や風景の魅力」などの得点差が大きく、訪問することで景観の評価が高まったと考えられる。居留意向は、訪問経験のある人もない人もマイナス評価となっているが、訪問したことで数値が上がっている。

	訪問経験有	訪問経験無	得点差(有-無)
自然風景	176.5	116.9	59.6
食	223.1	174.3	48.8
街並み	226.3	165.4	60.9
宿泊	152.6	119.1	33.5
買物・土産	201.7	150.0	51.7
訪問意向	228.2	214.0	14.3
居留意向	-18.8	-70.6	51.8

レーダーチャートでは、函館市同様に、各項目でバランスよく評価が得られていることが分かる。また、訪問経験の有無によるイメージの大きな齟齬もあまり見られないと考えられる。



属性別評価でも、「自然や風景の魅力」「町並みの魅力」「買物・土産品の魅力」と、年代別、居住地別、累積滞在（居住）期間別で、評価の高い項目は分散され、幅広い訪問客に受け入れられていると推測される。

			自然・風景	食	街並み	宿泊	買物土産品	訪問意向	居住意向
		小樽市全体	1.087	1.413	1.417	0.967	1.293	1.500	-0.203
性別	1	男性(46.7%)	0.957	1.314	1.229	0.886	1.136	1.414	0.000
	2	女性(53.3%)	1.200	1.500	1.581	1.038	1.381	1.575	-0.381
年代	1	10代(7.7%)	1.087	0.913	1.174	0.826	1.087	1.304	-0.043
	2	20代(19.0%)	1.000	1.491	1.316	0.912	1.193	1.509	-0.421
	3	30代(23.7%)	1.042	1.507	1.507	0.944	1.394	1.394	-0.197
	4	40代(20.7%)	1.129	1.581	1.468	1.065	1.290	1.597	-0.226
	5	50代(19.0%)	1.018	1.333	1.439	1.035	1.298	1.544	-0.018
	6	60代(8.3%)	1.280	1.200	1.320	0.840	1.080	1.600	-0.240
	7	70代以上(1.7%)	2.000	1.400	2.000	1.200	1.400	1.600	-0.200
居住地	1	東北(3.7%)	1.455	1.273	1.364	0.909	1.364	1.545	0.364
	2	関東(57.0%)	1.070	1.515	1.421	0.953	1.292	1.497	-0.322
	3	中部(13.7%)	1.073	1.098	1.366	0.829	1.146	1.585	-0.268
	4	近畿(19.0%)	1.123	1.439	1.421	1.123	1.246	1.509	-0.035
	5	中国・四国(3.0%)	1.222	1.222	1.444	0.667	1.333	1.222	-0.111
	6	九州・沖縄(3.7%)	0.727	1.182	1.545	1.182	1.273	1.364	0.364
累積滞在(居住)期間	1	1週間未満(16.7%)	1.280	1.420	1.560	1.140	1.540	1.620	0.000
	2	1週間～2週間未満(25.9%)	1.160	1.453	1.320	0.773	1.080	1.507	-0.507
	3	2週間～1ヶ月未満(24.3%)	1.014	1.452	1.425	1.027	1.315	1.548	-0.288
	4	1ヶ月～半年未満(15.3%)	0.891	1.413	1.457	0.957	1.413	1.457	0.174
	5	半年～1年未満(3.7%)	1.000	1.364	1.364	1.091	1.091	1.182	-0.182
	6	1年～5年未満(9.0%)	1.111	1.407	1.333	0.926	0.889	1.556	-0.185
	7	5年～10年未満(2.7%)	0.500	1.125	1.500	1.000	1.625	1.250	0.000
	8	10年以上(3.3%)	1.500	1.100	1.400	1.100	1.200	1.100	-0.300

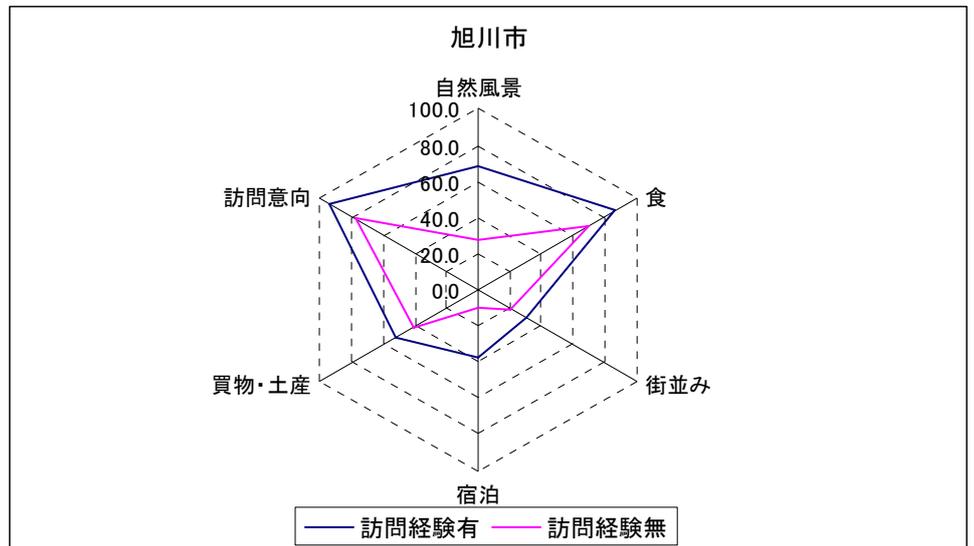
4. 旭川市

総合評価で 13 位の旭川市は、訪問経験のある人がない人の評価を下回っている項目はないものの、全般的に各項目の得点が 100 点を下回っており、先に紹介した札幌市や函館市、小樽市などと比較すると、やや魅力に欠けていると推測される。観光客を意識するのであれば、今回の質問項目には含まれていないもの

の、昨今人気の旭山動物園などを大きな観光資源として位置付け、インパクトのある観光地づくりの戦略を練っていく必要があるように感じる。

レーダーチャートを見ると、「街並みの魅力」や「宿泊の魅力」、「買物・土産品の魅力」についての評価がやや低めで、「自然や風景の魅力」や「宿泊の魅力」については、訪問することでイメージが大きくアップする魅力の要素と考えられる。

	訪問経験有	訪問経験無	得点差(有-無)
自然風景	68.6	27.6	41.0
食	86.9	70.6	16.3
街並み	31.1	21.0	10.1
宿泊	37.5	9.9	27.6
買物・土産	52.1	40.8	11.3
訪問意向	93.3	78.3	15.0
居住意向	-118.0	-129.0	11.1



属性別評価では、女性、そして10代、30代に「食の魅力」が評価されているほか、関東、近畿、中国・四国居住者に評価されていることが分かる。しかし、そのほかの分野では訪問意向への評価が中心で、今回設定した項目の中では、その魅力のインパクトに欠けていると考えられる。

			自然・風景	食	街並み	宿泊	買物土産品	訪問意向	居住意向
		旭川市全体	0.333	0.530	0.177	0.167	0.313	0.577	-0.820
性別	1	男性(46.7%)	0.307	0.507	0.229	0.243	0.300	0.636	-0.629
	2	女性(53.3%)	0.356	0.550	0.131	0.100	0.325	0.525	-0.988
年代	1	10代(7.7%)	0.522	1.043	0.652	0.348	0.696	0.870	-0.348
	2	20代(19.0%)	0.526	0.614	0.175	0.228	0.421	0.789	-0.649
	3	30代(23.7%)	0.225	0.592	0.042	0.042	0.211	0.535	-0.859
	4	40代(20.7%)	0.242	0.419	0.097	0.258	0.226	0.435	-0.919
	5	50代(19.0%)	0.333	0.404	0.228	0.123	0.333	0.421	-0.807
	6	60代(8.3%)	0.240	0.320	0.160	0.120	0.120	0.600	-1.240
	7	70代以上(1.7%)	0.400	0.200	0.400	0.000	0.600	0.800	-1.200
居住地	1	東北(3.7%)	0.000	0.091	-0.273	0.000	0.091	1.273	-0.909
	2	関東(57.0%)	0.380	0.649	0.199	0.228	0.439	0.591	-0.784
	3	中部(13.7%)	0.220	0.268	0.146	0.073	0.122	0.585	-1.049
	4	近畿(19.0%)	0.333	0.456	0.140	0.088	0.140	0.439	-0.860
	5	中国・四国(3.0%)	0.333	0.667	0.333	-0.111	0.333	0.222	-0.444
	6	九州・沖縄(3.7%)	0.364	0.364	0.455	0.364	0.182	0.636	-0.545
累積滞在(居住期間)	1	1週間未満(16.7%)	0.500	0.580	0.220	0.120	0.380	0.800	-0.740
	2	1週間～2週間未満(25.9%)	0.213	0.587	0.253	0.200	0.320	0.560	-1.027
	3	2週間～1ヶ月未満(24.3%)	0.247	0.630	0.027	0.192	0.315	0.534	-0.945
	4	1ヶ月～半年未満(15.3%)	0.217	0.500	0.239	0.261	0.457	0.543	-0.457
	5	半年～1年未満(3.7%)	0.818	0.455	0.273	-0.091	0.364	0.273	-0.636
	6	1年～5年未満(9.0%)	0.556	0.222	0.259	0.037	-0.148	0.556	-0.704
	7	5年～10年未満(2.7%)	0.250	-0.125	0.000	0.500	0.500	0.375	-1.000
	8	10年以上(3.3%)	0.500	0.700	0.000	-0.100	0.300	0.600	-0.800

5. 大沼公園（七飯町）

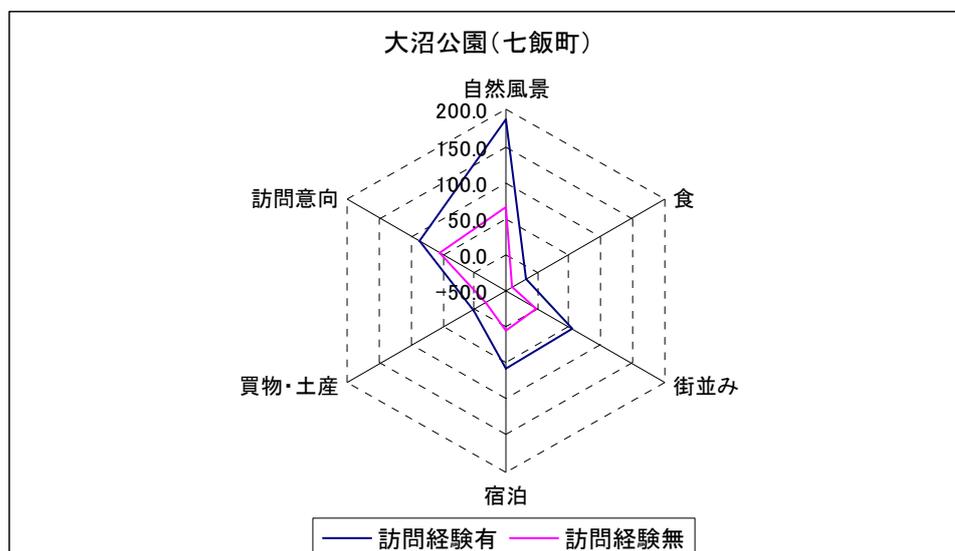
総合順位で20位であった大沼公園は、「食の魅力」が訪問経験のある人もない人もマイナス評価となっている。また、「買物・土産の魅力」の得点も低く、居留意向についてもマイナス評価となっている。公園のイメージが強いためと考えられるが、観光名所でもあることから、訪問客の消費をうながし、経済効果

	訪問経験有	訪問経験無	得点差(有-無)
自然風景	185.6	65.9	119.7
食	-20.3	-42.9	22.5
街並み	53.4	-2.5	55.9
宿泊	57.2	5.8	51.4
買物・土産	1.3	-19.8	21.1
訪問意向	86.4	55.2	31.2
居留意向	-144.9	-160.7	15.8

の期待できる食や買物・土産など、評価が低い要素については、今後、地域経済活性化のために魅力ある展開を検討していく必要があると考えられる。訪問経験があることで「自然や風景の魅力」

の評価は高まっているが、観光客の消費を呼び起こす工夫が期待される。

レーダーチャートでも、「自然や風景の魅力」の評価が他の項目と比べて高く、バランスに欠けている様子が分かる。



属性別評価では、九州・沖縄に居住する人が「街並みの魅力」や「買物・土産品の魅力」に対する評価があるものの、それ以外では、「自然や風景の魅力」に評価が偏っていることが分かる。

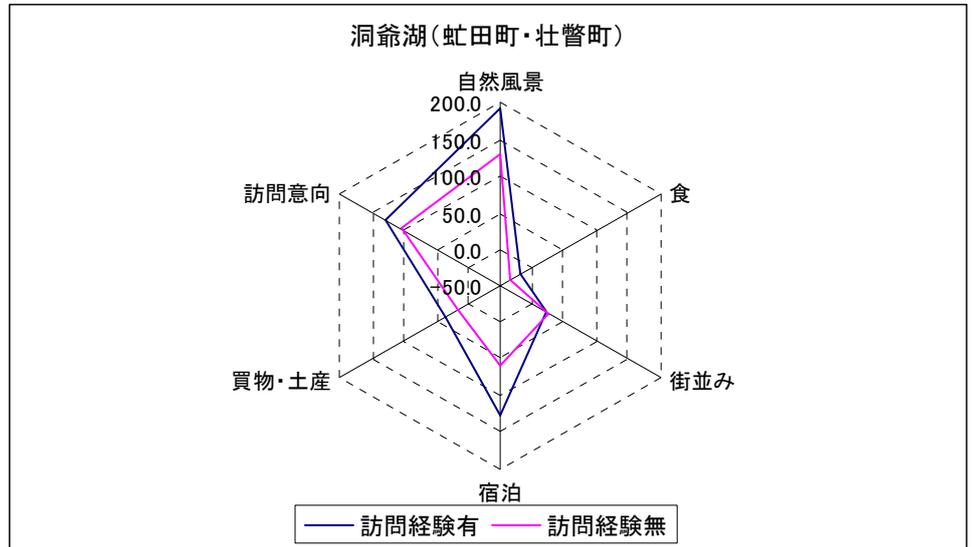
			自然・風景	食	街並み	宿泊	買物土産品	訪問意向	居住意向
		大沼公園(七飯町)全体	0.753	-0.227	0.130	0.173	-0.077	0.450	-1.030
性別	1	男性(46.7%)	0.636	-0.214	0.029	0.136	-0.007	0.386	-0.857
	2	女性(53.3%)	0.856	-0.238	0.219	0.206	-0.138	0.506	-1.181
年代	1	10代(7.7%)	0.565	-0.217	0.087	-0.043	0.043	0.217	-0.870
	2	20代(19.0%)	0.491	-0.351	0.105	-0.018	-0.105	0.175	-1.018
	3	30代(23.7%)	0.465	-0.493	0.000	-0.211	-0.239	0.211	-1.127
	4	40代(20.7%)	1.032	-0.161	0.097	0.452	-0.081	0.806	-1.081
	5	50代(19.0%)	0.982	-0.088	0.263	0.579	0.018	0.632	-0.825
	6	60代(8.3%)	1.000	0.160	0.320	0.240	0.040	0.560	-1.280
	7	70代以上(1.7%)	1.400	0.600	0.400	0.400	0.400	1.000	-1.000
居住地	1	東北(3.7%)	0.909	-0.727	0.000	-0.273	-0.545	0.182	-1.182
	2	関東(57.0%)	0.871	-0.170	0.117	0.216	-0.053	0.491	-1.099
	3	中部(13.7%)	0.488	-0.244	0.171	0.171	-0.195	0.244	-1.000
	4	近畿(19.0%)	0.667	-0.316	0.140	0.193	-0.053	0.649	-0.930
	5	中国・四国(3.0%)	0.889	0.111	0.333	0.333	0.222	0.667	-0.333
	6	九州・沖縄(3.7%)	0.091	-0.364	0.091	-0.273	0.091	-0.364	-1.000
累積滞在(居住)期間	1	1週間未満(16.7%)	0.720	-0.360	0.180	0.060	-0.080	0.520	-1.000
	2	1週間～2週間未満(25.9%)	0.747	-0.280	0.227	0.080	-0.133	0.253	-1.213
	3	2週間～1ヶ月未満(24.3%)	0.740	-0.123	0.151	0.233	0.000	0.575	-1.041
	4	1ヶ月～半年未満(15.3%)	0.674	-0.174	0.000	0.326	-0.043	0.478	-0.935
	5	半年～1年未満(3.7%)	1.091	0.182	0.364	0.636	0.091	1.000	-0.727
	6	1年～5年未満(9.0%)	0.630	-0.185	0.037	-0.037	-0.296	0.370	-0.889
	7	5年～10年未満(2.7%)	1.375	-0.375	0.000	0.375	0.250	0.125	-0.750
	8	10年以上(3.3%)	0.900	-0.600	-0.300	0.200	-0.200	0.400	-1.100

6. 洞爺湖（虻田町・壮瞥町）

総合評価で9位となった洞爺湖は、温泉地のためか「宿泊の魅力」は、訪問経験のある人とない人の差がもっとも大きく、訪問することで、その魅力がアップすることが推測される。しかし、「食の魅力」は訪問経験のある人もない人もマイナス評価となっており、食に対する厳しい評価が感じられる。また、「街並みの魅力」では訪問経験のある人がない人の評価を下回り、訪問することで印象がマイナスになってしまうことが考えられる。

	訪問経験有	訪問経験無	得点差(有-無)
自然風景	193.1	129.7	63.4
食	-16.2	-32.7	16.5
街並み	19.8	25.9	-6.2
宿泊	127.5	57.5	70.0
買物・土産	33.2	15.8	17.4
訪問意向	129.3	104.9	24.5
居住意向	-151.8	-166.9	15.1

レーダーチャートを見ると、「食の魅力」や「街並みの魅力」、「買物・土産の魅力」が低いことが分かり、「宿泊の魅力」や「自然や風景の魅力」に評価が偏ったバランスに欠ける評価となっていることが分かる。



属性別評価では、ほとんどが「自然や景観の魅力」に対する評価で、今後は、温泉地として、食や街並み、宿泊、買物・土産品などの魅力づくりにさらなる努力が期待される。

			自然・風景	食	街並み	宿泊	買物土産品	訪問意向	居住意向
		洞爺湖(虻田町・壮瞥町)全体	1.100	-0.157	0.150	0.643	0.170	0.790	-1.057
性別	1	男性(46.7%)	1.057	-0.114	0.079	0.643	0.293	0.843	-0.850
	2	女性(53.3%)	1.138	-0.194	0.213	0.644	0.063	0.744	-1.238
年代	1	10代(7.7%)	1.174	-0.217	0.478	0.478	0.565	0.913	-0.913
	2	20代(19.0%)	0.860	-0.228	0.193	0.526	0.175	0.719	-1.123
	3	30代(23.7%)	0.958	-0.394	0.070	0.408	-0.014	0.592	-1.155
	4	40代(20.7%)	1.323	-0.048	0.000	0.903	0.129	0.887	-1.113
	5	50代(19.0%)	1.175	-0.070	0.193	0.825	0.228	0.877	-0.807
	6	60代(8.3%)	1.160	0.120	0.240	0.600	0.240	0.920	-1.280
	7	70代以上(1.7%)	1.600	0.600	0.200	1.000	0.400	1.000	-0.600
居住地	1	東北(3.7%)	1.091	-0.636	-0.091	0.455	-0.364	0.636	-0.818
	2	関東(57.0%)	1.205	-0.094	0.175	0.760	0.257	0.895	-1.111
	3	中部(13.7%)	0.829	-0.195	-0.024	0.415	-0.098	0.488	-1.098
	4	近畿(19.0%)	0.947	-0.263	0.105	0.526	0.158	0.807	-0.965
	5	中国・四国(3.0%)	0.889	0.333	0.556	0.778	0.222	0.778	-0.889
	6	九州・沖縄(3.7%)	1.455	-0.364	0.545	0.364	0.364	0.364	-0.909
累積滞在(居住)期間	1	1週間未満(16.7%)	1.020	-0.220	0.200	0.500	0.140	1.020	-0.920
	2	1週間～2週間未満(25.9%)	1.067	-0.187	0.253	0.520	0.107	0.653	-1.133
	3	2週間～1ヶ月未満(24.3%)	1.151	-0.055	0.205	0.685	0.192	0.808	-1.110
	4	1ヶ月～半年未満(15.3%)	1.174	-0.130	0.000	0.674	0.174	0.826	-1.130
	5	半年～1年未満(3.7%)	1.000	0.091	0.091	0.545	0.182	0.636	-0.727
	6	1年～5年未満(9.0%)	1.074	-0.185	0.185	0.815	0.185	0.778	-0.963
	7	5年～10年未満(2.7%)	1.250	-0.500	-0.375	1.125	0.750	0.625	-1.000
	8	10年以上(3.3%)	1.100	-0.400	-0.200	1.100	0.100	0.700	-1.100

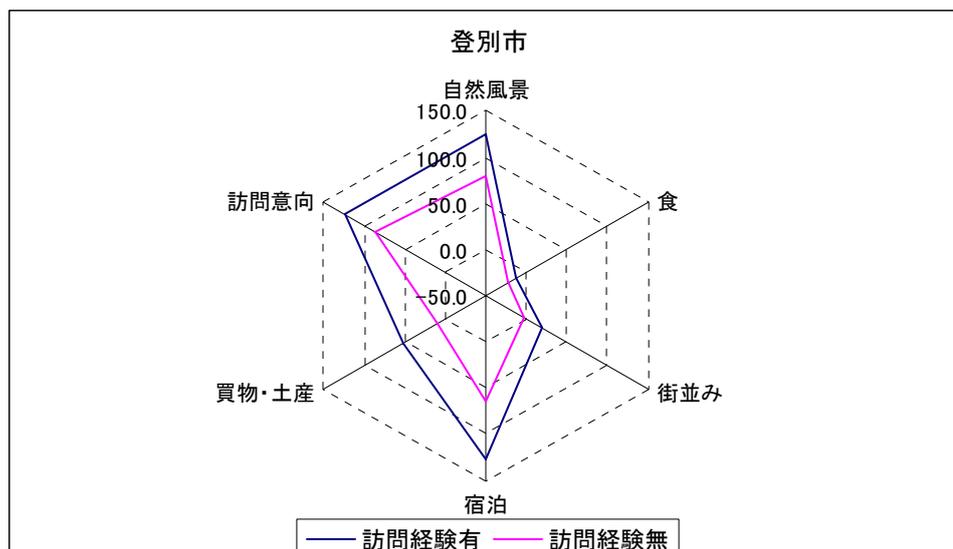
7. 登別市

総合評価で第 14 位となった登別市は、訪問経験のある人がない人の評価を下回っている項目はないため、訪問したことでイメージがマイナスになることは考えられないが、「食の魅力」では訪問経験のある人もない人もマイナス評価となっており、洞爺湖の結果を見ても、温泉地の食への評価が低いことがうかがわれる。

	訪問経験有	訪問経験無	得点差(有-無)
自然風景	123.4	78.0	45.3
食	-13.8	-22.3	8.5
街並み	19.7	-2.0	21.8
宿泊	127.3	63.9	63.5
買物・土産	50.3	11.1	39.2
訪問意向	123.4	87.2	36.2
居留意向	-127.3	-160.1	32.8

訪問経験の有無でもっとも差の大きい項目は「宿泊の魅力」となっており、訪問することで、宿泊の魅力=温泉の魅力がさらに評価されると考えられる。

レーダーチャートを見ると、やはり「食の魅力」の評価が低いことが分かるが、「宿泊の魅力」の評価は高いことがよく分かり、登別温泉の認知度の高さをうかがわせる。



属性別評価では、60代で「宿泊の魅力」が、累積滞在（居住）期間別では「買物や土産品の魅力」が評価されているものの、それ以外は「自然や景観の魅力」「訪問意向」への評価が中心であった。

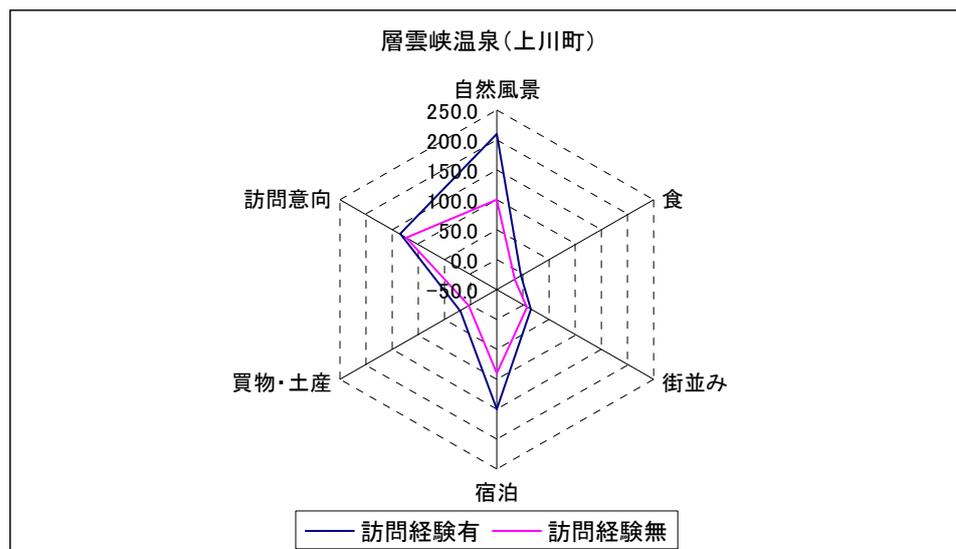
			自然・風景	食	街並み	宿泊	買物土産品	訪問意向	居住意向
		登別市全体	0.673	-0.120	0.060	0.640	0.207	0.703	-0.957
性別	1	男性(46.7%)	0.607	-0.143	0.007	0.536	0.264	0.664	-0.771
	2	女性(53.3%)	0.731	-0.100	0.106	0.731	0.156	0.738	-1.119
年代	1	10代(7.7%)	0.739	-0.261	0.391	0.522	0.174	0.522	-0.652
	2	20代(19.0%)	0.579	-0.018	0.018	0.649	0.263	0.842	-0.877
	3	30代(23.7%)	0.634	-0.352	-0.042	0.465	0.127	0.606	-1.042
	4	40代(20.7%)	0.726	-0.097	-0.016	0.758	0.242	0.952	-1.048
	5	50代(19.0%)	0.614	-0.070	0.123	0.649	0.158	0.474	-0.842
	6	60代(8.3%)	0.920	0.240	0.160	0.920	0.240	0.680	-1.160
	7	70代以上(1.7%)	0.800	0.000	0.200	0.600	0.800	1.000	-1.200
居住地	1	東北(3.7%)	1.000	-0.364	0.000	1.000	0.000	1.182	-0.455
	2	関東(57.0%)	0.690	-0.088	0.076	0.684	0.240	0.754	-1.018
	3	中部(13.7%)	0.634	-0.122	-0.049	0.561	0.024	0.512	-0.805
	4	近畿(19.0%)	0.509	-0.211	0.035	0.526	0.228	0.737	-0.982
	5	中国・四国(3.0%)	1.000	0.111	0.444	0.444	0.667	0.667	-0.667
	6	九州・沖縄(3.7%)	0.818	-0.091	0.091	0.636	0.091	0.000	-1.182
累積滞在(居住)期間	1	1週間未満(16.7%)	0.760	-0.280	0.020	0.560	0.200	1.020	-0.900
	2	1週間～2週間未満(25.9%)	0.693	-0.067	0.133	0.760	0.120	0.787	-0.947
	3	2週間～1ヶ月未満(24.3%)	0.534	-0.041	0.123	0.630	0.260	0.658	-1.068
	4	1ヶ月～半年未満(15.3%)	0.587	-0.065	0.000	0.500	0.196	0.522	-1.000
	5	半年～1年未満(3.7%)	0.818	0.000	0.091	0.545	0.273	0.273	-0.727
	6	1年～5年未満(9.0%)	0.741	-0.111	0.000	0.481	0.037	0.444	-0.889
	7	5年～10年未満(2.7%)	0.750	-0.250	-0.125	1.250	1.000	0.750	-0.375
	8	10年以上(3.3%)	1.100	-0.600	-0.200	0.900	0.300	0.800	-1.200

8. 層雲峡温泉（上川町）

総合順位で 10 位となった層雲峡温泉は、「居住意向」の項目で訪問経験のある人がない人の評価を下回っており、住みよさの面では訪問したことでマイナスの印象につながると考えられる。また、「自然や風景の魅力」や「宿泊の魅力」「訪問意向」では訪問経験の有無にかかわらず高い評価を得ているが、「食の魅力」ではマイナス得点となっており、また、「街並みの魅力」もあまり高い評価とはいえない。層雲峡温泉では、中心温泉街のほとんどの建物を取り壊して、敷地を再配分し、統一したデザインの建物に新築するという試みが進められたが、こうした情報が伝わっていないことが考えられ、古い街並みの印象が強く、あまり評価が高まらなかったのではないかと考えられる。

レーダーチャートを見ると、「宿泊の魅力」や「自然や風景の魅力」に評価が偏っており、全体のバランスに欠けていることが分かる。

	訪問経験有	訪問経験無	得点差(有-無)
自然風景	209.1	99.4	109.7
食	-4.4	-16.6	12.2
街並み	17.5	7.4	10.2
宿泊	151.1	88.3	62.8
買物・土産	19.7	1.8	17.9
訪問意向	134.7	123.3	11.4
居住意向	-169.7	-152.8	-16.9



属性別評価では、20代、東北居住者、累積滞在（居住）期間が1週間未満の対象者で「訪問意向」がもっとも高くなっているが、それ以外は「自然や風景の魅力」への評価が中心となっている。

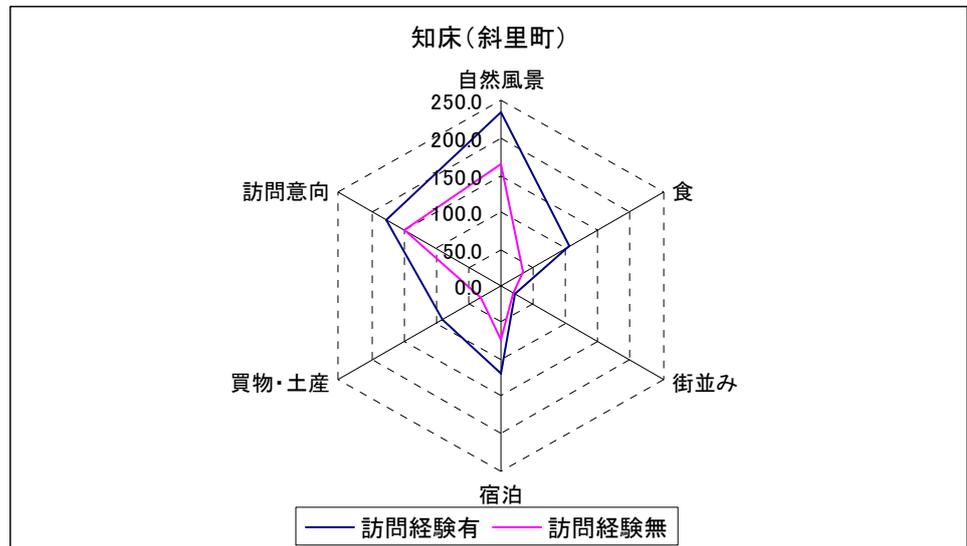
			自然・風景	食	街並み	宿泊	買物土産品	訪問意向	居住意向
		層雲峡温泉(上川町)全体	0.997	-0.073	0.080	0.780	0.067	0.857	-1.070
性別	1	男性(46.7%)	0.914	-0.071	-0.043	0.743	0.186	0.864	-0.907
	2	女性(53.3%)	1.069	-0.075	0.188	0.813	-0.038	0.850	-1.213
年代	1	10代(7.7%)	0.783	0.087	0.261	0.522	0.348	0.609	-0.826
	2	20代(19.0%)	0.702	0.035	0.053	0.667	0.140	0.807	-1.140
	3	30代(23.7%)	0.761	-0.423	-0.056	0.535	-0.169	0.746	-1.155
	4	40代(20.7%)	1.226	-0.032	-0.048	1.016	0.065	1.065	-1.161
	5	50代(19.0%)	1.333	0.000	0.263	1.035	0.140	0.842	-0.860
	6	60代(8.3%)	1.120	0.280	0.280	0.880	0.160	1.000	-1.160
	7	70代以上(1.7%)	1.400	-0.200	0.000	0.400	0.000	1.000	-1.000
居住地	1	東北(3.7%)	0.545	-0.364	-0.273	0.545	-0.545	0.727	-0.545
	2	関東(57.0%)	1.012	-0.029	0.053	0.807	0.111	0.947	-1.152
	3	中部(13.7%)	0.951	-0.122	0.171	0.683	-0.024	0.683	-1.000
	4	近畿(19.0%)	1.000	-0.193	0.070	0.807	0.105	0.807	-1.035
	5	中国・四国(3.0%)	1.333	0.333	0.222	0.778	0.333	0.556	-0.778
	6	九州・沖縄(3.7%)	1.091	0.000	0.455	0.818	-0.091	0.727	-1.000
累積滞在(居住期間)	1	1週間未満(16.7%)	0.940	-0.100	0.100	0.580	0.040	1.040	-1.020
	2	1週間～2週間未満(25.9%)	0.893	0.067	0.213	0.880	0.013	0.840	-1.227
	3	2週間～1ヶ月未満(24.3%)	1.096	-0.110	0.164	0.767	0.041	0.973	-1.110
	4	1ヶ月～半年未満(15.3%)	0.913	-0.130	-0.174	0.696	0.043	0.804	-1.065
	5	半年～1年未満(3.7%)	1.364	0.091	0.545	1.000	0.364	0.455	-0.909
	6	1年～5年未満(9.0%)	0.963	-0.111	-0.111	0.778	0.111	0.778	-0.889
	7	5年～10年未満(2.7%)	1.250	-0.250	-0.250	1.250	0.750	0.250	-0.625
	8	10年以上(3.3%)	1.200	-0.400	-0.200	0.900	-0.100	0.600	-0.900

9. 知床（斜里町）

総合評価で5位となった知床は、訪問経験のある人となない人の得点差では「食の魅力」がもっとも大きく、次いで「自然や風景の魅力」となった。また、「買物・土産の魅力」や「宿泊の魅力」での得点差も大きく、訪問することで消費分野の魅力がイメージアップすると考えられる。訪問経験の有無にかかわらず、居住意向はマイナスと低いものの、それ以外の項目ではすべてプラス評価となっていることから、全般的にイメージはよく受け入れられていると考えられる。

レーダーチャートを見ると、「自然や風景の魅力」や「訪問意向」での評価が高く、知床の雄大な自然が高く評価されていることが分かる。

	訪問経験有	訪問経験無	得点差(有-無)
自然風景	233.3	163.9	69.4
食	103.8	34.4	69.4
街並み	21.8	18.0	3.8
宿泊	119.2	73.0	46.3
買物・土産	91.0	28.7	62.3
訪問意向	178.2	149.2	29.0
居住意向	-126.9	-160.7	33.7



属性別評価では、60代、東北居住者で「訪問意向」がもっとも高いが、それ以外は「自然や風景の魅力」に対する評価となっている。

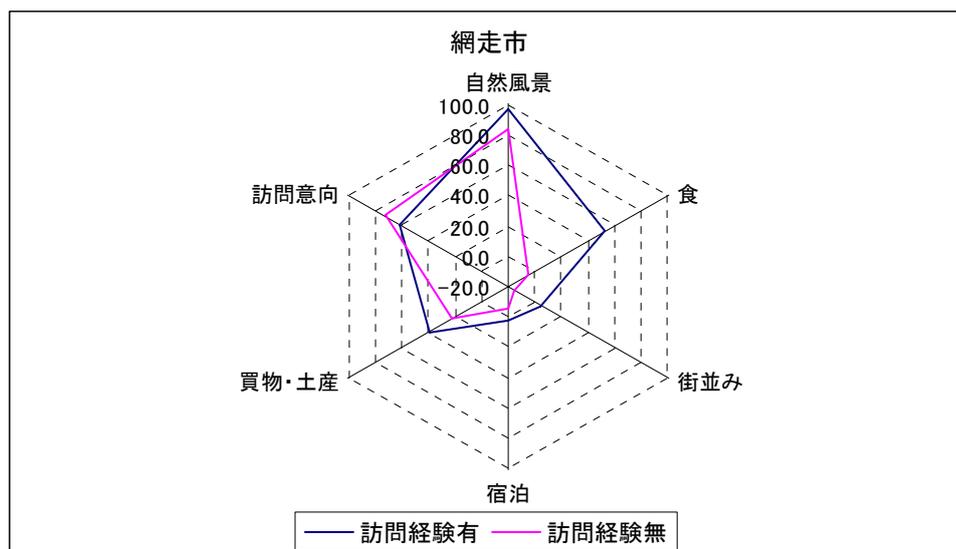
			自然・風景	食	街並み	宿泊	買物土産品	訪問意向	居住意向
		知床(斜里町)全体	1.273	0.410	0.130	0.607	0.353	1.070	-0.983
性別	1	男性(46.7%)	1.286	0.479	0.014	0.643	0.500	1.093	-0.714
	2	女性(53.3%)	1.263	0.350	0.231	0.575	0.225	1.050	-1.219
年代	1	10代(7.7%)	1.000	0.174	0.261	0.522	0.522	0.826	-0.652
	2	20代(19.0%)	0.982	0.368	0.035	0.421	0.123	0.684	-1.018
	3	30代(23.7%)	1.042	0.197	-0.014	0.169	0.169	0.803	-1.127
	4	40代(20.7%)	1.532	0.548	0.048	0.919	0.435	1.435	-0.984
	5	50代(19.0%)	1.684	0.596	0.404	1.018	0.649	1.404	-0.772
	6	60代(8.3%)	1.200	0.520	0.200	0.520	0.280	1.200	-1.280
	7	70代以上(1.7%)	1.600	0.600	0.200	1.200	0.800	1.400	-1.000
居住地	1	東北(3.7%)	0.545	0.000	-0.091	0.182	-0.364	1.091	-0.636
	2	関東(57.0%)	1.374	0.526	0.123	0.690	0.421	1.146	-1.058
	3	中部(13.7%)	1.220	0.220	0.049	0.341	0.268	0.878	-0.902
	4	近畿(19.0%)	1.158	0.316	0.193	0.579	0.386	1.105	-0.965
	5	中国・四国(3.0%)	1.333	0.556	0.222	0.889	0.444	0.556	-0.222
	6	九州・沖縄(3.7%)	1.182	0.091	0.364	0.636	0.091	0.818	-1.182
累積滞在(居住)期間	1	1週間未満(16.7%)	1.120	0.280	0.060	0.260	0.160	1.020	-0.860
	2	1週間～2週間未満(25.9%)	1.173	0.253	0.213	0.587	0.240	0.853	-1.133
	3	2週間～1ヶ月未満(24.3%)	1.342	0.589	0.247	0.781	0.534	1.247	-1.068
	4	1ヶ月～半年未満(15.3%)	1.413	0.565	0.000	0.630	0.435	1.174	-0.848
	5	半年～1年未満(3.7%)	1.364	0.909	0.455	0.909	0.636	1.000	-0.727
	6	1年～5年未満(9.0%)	1.370	0.370	0.074	0.704	0.259	1.259	-0.889
	7	5年～10年未満(2.7%)	1.000	-0.125	0.000	0.750	0.375	0.500	-1.000
	8	10年以上(3.3%)	1.500	0.200	-0.500	0.400	0.400	1.200	-1.000

10. 網走市

総合評価で第19位となった網走市は、100点以上を獲得した項目はなく、全般的に魅力に欠けているのではないかと印象が残る。また、「訪問意向」の項目では、訪問経験のある人がない人の得点を下回り、もう一度行ってみようという魅力に欠けていることも感じられる。7項目の中では「自然や風景の魅力」が評価を得ているほか、「食の魅力」では訪問経験がある人はない人の得点差を上回り、訪問することでイメージが高まる要素といえる。

	訪問経験有	訪問経験無	得点差(有-無)
自然風景	96.1	82.7	13.4
食	52.0	-5.1	57.1
街並み	4.9	-16.3	21.2
宿泊	2.0	-6.1	8.1
買物・土産	39.2	21.4	17.8
訪問意向	60.8	72.4	-11.7
居住意向	-170.6	-178.6	8.0

レーダーチャートでは、「自然や風景の魅力」に偏った評価であることが分かる。



属性別評価では、60代、中国・四国居住者、累積滞在（居住）期間が半年～1年未満の対象者で「食の魅力」の評価が高いことが分かる。また、累積滞在（居住）期間が半年～1年未満の対象者には「買物・土産品の魅力」も評価が高い。それ以外は「自然や風景の魅力」に対する評価が中心となっている。

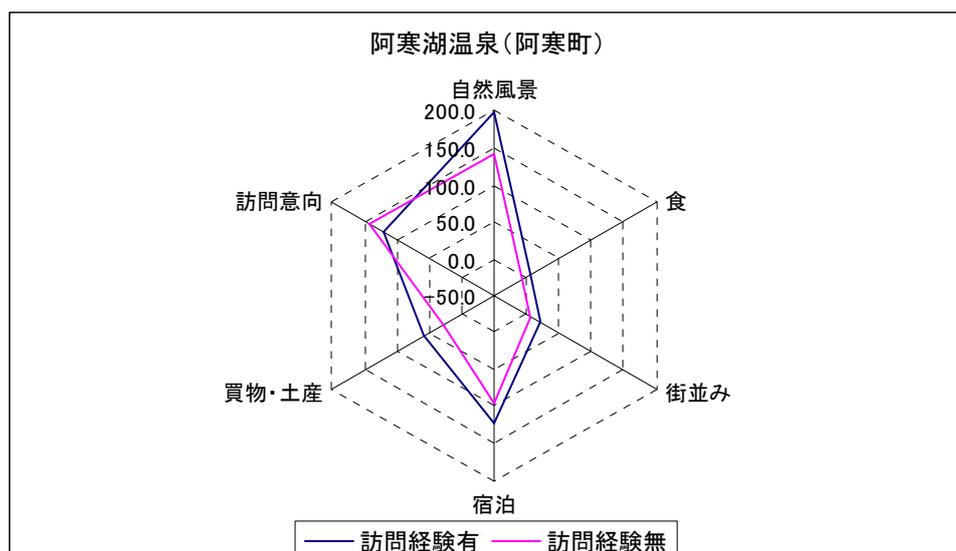
			自然・風景	食	街並み	宿泊	買物土産品	訪問意向	居住意向
		網走市全体	0.597	0.160	-0.037	-0.013	0.203	0.443	-1.163
性別	1	男性(46.7%)	0.550	0.221	-0.050	0.064	0.307	0.493	-0.936
	2	女性(53.3%)	0.638	0.106	-0.025	-0.081	0.113	0.400	-1.363
年代	1	10代(7.7%)	0.478	0.000	0.043	0.130	0.217	0.478	-0.826
	2	20代(19.0%)	0.561	0.158	-0.035	0.018	0.140	0.333	-1.088
	3	30代(23.7%)	0.493	-0.099	-0.085	-0.239	0.169	0.352	-1.254
	4	40代(20.7%)	0.645	0.129	-0.129	0.048	0.177	0.516	-1.194
	5	50代(19.0%)	0.789	0.368	0.053	0.070	0.333	0.649	-1.088
	6	60代(8.3%)	0.480	0.600	0.000	0.040	0.160	0.280	-1.480
	7	70代以上(1.7%)	0.800	0.400	0.200	0.200	0.400	0.400	-1.200
居住地	1	東北(3.7%)	0.455	-0.636	-0.545	-0.182	-0.182	0.545	-1.273
	2	関東(57.0%)	0.573	0.193	-0.064	-0.006	0.205	0.433	-1.222
	3	中部(13.7%)	0.634	0.195	0.024	-0.024	0.220	0.683	-1.122
	4	近畿(19.0%)	0.649	0.211	0.088	0.018	0.211	0.439	-1.053
	5	中国・四国(3.0%)	0.889	0.889	0.333	0.333	0.556	0.667	-0.778
	6	九州・沖縄(3.7%)	0.455	-0.545	-0.273	-0.364	0.182	-0.545	-1.182
累積滞在(居住)期間	1	1週間未満(16.7%)	0.720	-0.020	0.120	-0.320	0.220	0.660	-0.940
	2	1週間～2週間未満(25.9%)	0.520	0.093	-0.067	0.147	0.160	0.507	-1.373
	3	2週間～1ヶ月未満(24.3%)	0.589	0.274	0.055	0.055	0.219	0.425	-1.192
	4	1ヶ月～半年未満(15.3%)	0.717	0.391	-0.196	0.087	0.370	0.500	-1.130
	5	半年～1年未満(3.7%)	0.273	0.636	0.273	-0.091	0.636	0.364	-1.182
	6	1年～5年未満(9.0%)	0.519	-0.037	-0.074	-0.222	-0.074	0.296	-1.074
	7	5年～10年未満(2.7%)	0.500	0.000	0.000	0.250	0.250	0.000	-1.125
	8	10年以上(3.3%)	0.700	-0.200	-0.800	-0.200	-0.200	-0.400	-0.900

11. 阿寒湖温泉（阿寒町）

阿寒湖温泉は総合評価で第7位となっており、「自然や風景の魅力」や「宿泊の魅力」、「訪問意向」で高い得点を獲得している。しかし、「訪問意向」では、訪問経験のある人がない人の得点を下回っており、リピート客を確保するための魅力づくりが大きな課題といえそうだ。「食の魅力」は訪問経験のない人がマイナス得点になっているものの、訪問経験のある人はプラスに転じている。とはいえ、「食の魅力」の得点は高いとはいえない。また「街並みの魅力」もプラス評価ではあるが、得点は低めで、今後の検討要素といえそうだ。

	訪問経験有	訪問経験無	得点差(有-無)
自然風景	197.4	140.9	56.5
食	6.9	-8.1	15.0
街並み	20.7	7.1	13.6
宿泊	121.4	94.3	27.1
買物・土産	58.2	28.4	29.8
訪問意向	118.4	142.9	-24.5
居住意向	-161.8	-155.1	-6.8

レーダーチャートでは、「自然や風景の魅力」「宿泊の魅力」「訪問意向」に比べて「食の魅力」や「買物・土産の魅力」「街並みの魅力」で得点が低いことが分かり、町並みを除いては訪問時に消費をうながす分野での得点が低いといえ、今後の課題分野と考えられる。



属性別評価では、10代、70代以上、東北居住者では「訪問意向」の得点が高く、累積滞在（居住）期間が5年～10年未満の対象者で「宿泊の魅力」の得点が高いが、それ以外は「自然や風景の魅力」への評価となっている。

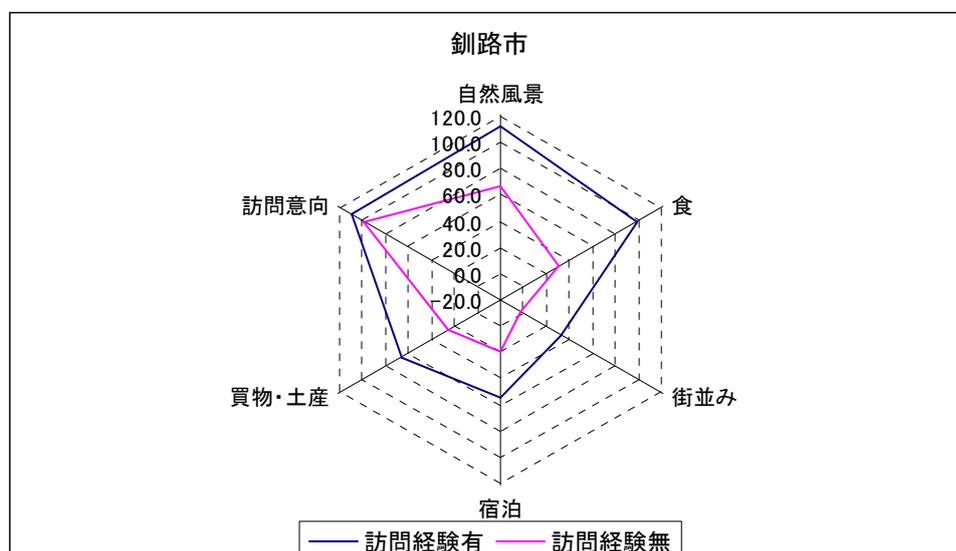
			自然風景	食	街並み	宿泊	買物土産品	訪問意向	居住意向
		阿寒湖温泉(阿寒町)全体	1.130	-0.003	0.093	0.720	0.290	0.870	-1.057
性別	1	男性(46.7%)	1.029	0.007	-0.021	0.686	0.357	0.879	-0.850
	2	女性(53.3%)	1.219	-0.013	0.194	0.750	0.231	0.863	-1.238
年代	1	10代(7.7%)	0.957	0.043	0.261	0.652	0.435	0.826	-0.870
	2	20代(19.0%)	1.035	0.070	-0.105	0.702	0.298	0.895	-1.105
	3	30代(23.7%)	1.085	-0.268	0.056	0.465	0.113	0.676	-1.155
	4	40代(20.7%)	1.290	0.000	-0.032	0.968	0.355	1.097	-1.113
	5	50代(19.0%)	1.228	0.070	0.281	0.807	0.404	0.860	-0.895
	6	60代(8.3%)	1.080	0.360	0.440	0.800	0.240	0.840	-1.080
	7	70代以上(1.7%)	0.800	0.000	-0.200	0.400	0.200	1.000	-1.000
居住地	1	東北(3.7%)	0.636	-0.273	0.091	0.455	-0.364	0.636	-0.636
	2	関東(57.0%)	1.164	0.076	0.099	0.807	0.333	1.023	-1.140
	3	中部(13.7%)	1.146	0.000	0.171	0.561	0.171	0.634	-1.049
	4	近畿(19.0%)	1.158	-0.088	0.088	0.719	0.439	0.789	-0.930
	5	中国・四国(3.0%)	1.000	0.111	0.444	0.444	0.333	0.778	-0.889
	6	九州・沖縄(3.7%)	1.000	-0.636	-0.545	0.455	-0.091	0.091	-1.000
累積滞在(居住)期間	1	1週間未満(16.7%)	1.280	-0.080	0.120	0.760	0.240	1.100	-0.960
	2	1週間～2週間未満(25.9%)	1.093	0.173	0.280	0.840	0.293	0.933	-1.213
	3	2週間～1ヶ月未満(24.3%)	1.096	0.014	0.192	0.753	0.329	0.849	-1.123
	4	1ヶ月～半年未満(15.3%)	1.109	-0.174	-0.130	0.500	0.239	0.826	-1.065
	5	半年～1年未満(3.7%)	1.091	0.182	0.364	0.455	0.364	0.545	-0.636
	6	1年～5年未満(9.0%)	1.222	0.037	-0.148	0.593	0.333	0.667	-0.852
	7	5年～10年未満(2.7%)	0.875	-0.375	-0.250	1.125	0.500	0.625	-0.750
	8	10年以上(3.3%)	1.000	-0.300	-0.500	0.700	0.100	0.700	-1.100

12. 釧路市

総合評価で第12位となった釧路市は、訪問経験のある人とない人で「食の魅力」の得点差がもっとも大きく、訪問することで「食の魅力」のイメージアップにつながると推測される。訪問経験のある人がない人を下回った評価項目はなく、一度訪問することで、全般的にイメージがよくなると考えられる。訪問経験のない人では、街並みへの評価がマイナスとなっており、この点は、イメージ向上のための努力が必要ではないだろうか。

	訪問経験有	訪問経験無	得点差(有-無)
自然風景	110.6	65.1	45.5
食	97.9	30.2	67.7
街並み	33.0	-2.8	35.8
宿泊	53.2	19.8	33.4
買物・土産	66.0	25.5	40.5
訪問意向	107.4	97.2	10.3
居住意向	-90.4	-155.7	65.2

また、レーダーチャートでは、訪問経験のある人は、比較的各項目についてバランスよく評価されていることが感じられる。



属性別評価では、女性、30代、中国・四国地方居住者、累積滞在（在住）期間の対象者で「自然や風景の魅力」の得点が高い。また、「食の魅力」を高く評価しているのは、70代以上、累積滞在（居住）期間が10年以上の対象者となっている。また、累積滞在期間が5～10年未満の対象者では「買物・土産品の魅力」がもっとも高い得点となっている。「自然や景観の魅力」よりも「訪問意向」で得点が高い傾向にあり、「行ってみたい」と思う、憧れの地となっているのではないかと思われる。

			自然風景	食	街並み	宿泊	買物土産品	訪問意向	居住意向
		釧路市全体	0.577	0.413	0.093	0.237	0.297	0.680	-0.833
性別	1	男性(46.7%)	0.479	0.586	0.086	0.329	0.414	0.721	-0.636
	2	女性(53.3%)	0.663	0.263	0.100	0.156	0.194	0.644	-1.006
年代	1	10代(7.7%)	0.652	0.565	0.217	0.261	0.391	0.870	-0.261
	2	20代(19.0%)	0.491	0.632	0.000	0.298	0.368	0.789	-0.754
	3	30代(23.7%)	0.634	0.183	0.155	0.085	0.211	0.521	-0.972
	4	40代(20.7%)	0.710	0.355	-0.081	0.290	0.226	0.742	-0.871
	5	50代(19.0%)	0.474	0.404	0.088	0.263	0.404	0.649	-0.825
	6	60代(8.3%)	0.480	0.520	0.360	0.240	0.240	0.640	-1.040
	7	70代以上(1.7%)	0.400	0.800	0.600	0.600	0.200	0.600	-1.000
居住地	1	東北(3.7%)	0.455	0.182	-0.182	0.182	-0.182	1.000	-0.636
	2	関東(57.0%)	0.643	0.538	0.099	0.275	0.398	0.725	-0.825
	3	中部(13.7%)	0.415	0.220	0.122	0.073	0.122	0.585	-0.878
	4	近畿(19.0%)	0.544	0.246	0.175	0.263	0.281	0.667	-0.912
	5	中国・四国(3.0%)	0.667	0.444	0.000	0.222	0.111	0.778	-0.667
	6	九州・沖縄(3.7%)	0.364	0.273	-0.182	0.182	0.091	0.000	-0.727
累積滞在(居住)期間	1	1週間未満(16.7%)	0.660	0.060	0.160	-0.020	0.160	0.740	-0.720
	2	1週間～2週間未満(25.9%)	0.627	0.440	0.213	0.213	0.280	0.747	-0.947
	3	2週間～1ヶ月未満(24.3%)	0.493	0.425	0.027	0.301	0.315	0.685	-1.041
	4	1ヶ月～半年未満(15.3%)	0.717	0.630	0.174	0.543	0.435	0.652	-0.630
	5	半年～1年未満(3.7%)	0.727	0.545	0.182	0.182	0.636	0.909	-0.545
	6	1年～5年未満(9.0%)	0.333	0.444	-0.185	0.185	0.111	0.556	-0.667
	7	5年～10年未満(2.7%)	0.250	0.250	0.125	0.375	0.625	0.125	-0.750
	8	10年以上(3.3%)	0.500	0.800	-0.400	-0.100	0.200	0.500	-0.800

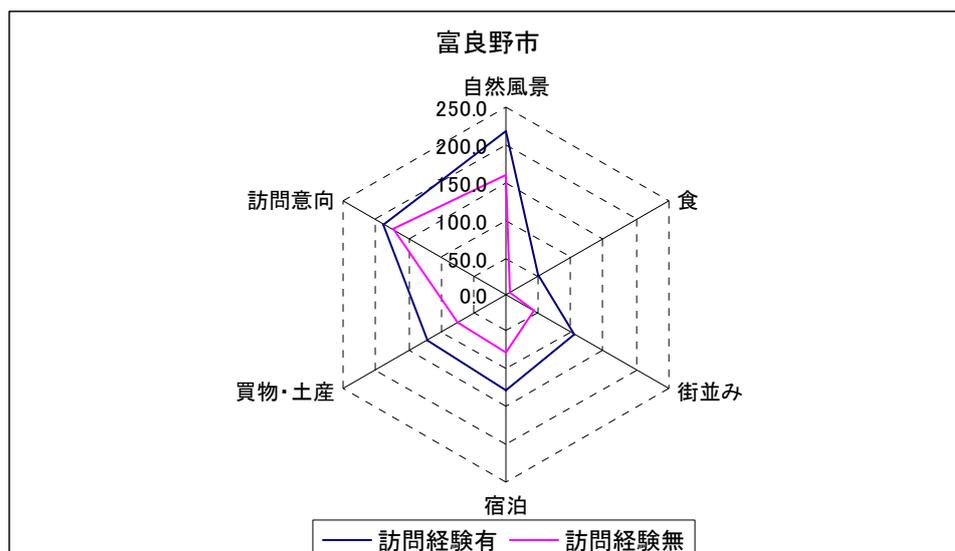
13. 富良野市

総合評価で第4位となった富良野市は、訪問経験のある人がない人の評価を下回った項目はなく、訪問することですべての要素でイメージがアップすると考えられる。中でも、居住意向は、マイナス評価ではあるが、得点差がもっとも大きく、訪問することで住んでみたいと思える地域になると考えられる。また、

	訪問経験有	訪問経験無	得点差(有-無)
自然風景	219.3	160.6	58.7
食	49.4	6.3	43.0
街並み	104.4	42.3	62.2
宿泊	127.2	77.1	50.1
買物・土産	120.6	73.9	46.6
訪問意向	186.1	172.2	13.9
居住意向	-36.1	-104.6	68.5

「自然や風景の魅力」「街並みの魅力」「宿泊の魅力」「買物・土産の魅力」「食の魅力」と多くの項目で訪問経験のある人とない人の得点差が40～60点と、安定した得点差となっており、訪問することでイメージをより高める地域であると考えられる。

レーダーチャートでは、「食の魅力」がもっとも低いことが分かり、特に、この分野が今後の課題と推測される。



属性別評価では、「自然や風景の魅力」と「訪問意向」の二つの評価に分かれていることが分かる。年代別では、二つの要素に評価がばらつき、そのほかの居住地別、累積滞在（居住）期間別では、「訪問意向」の得点が高いグループもあるが、多くが「自然や風景の魅力」に高い得点を示していることが分かる。

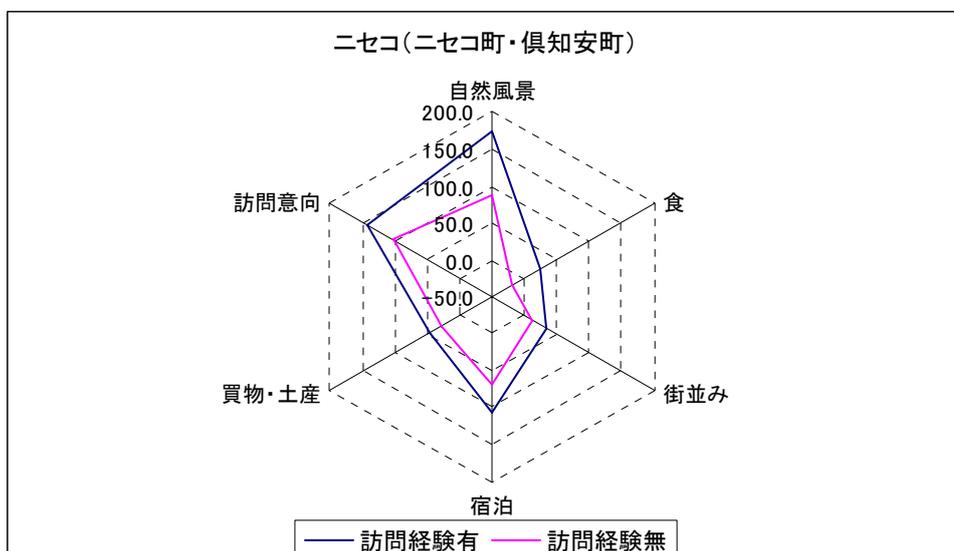
			自然風景	食	街並み	宿泊	買物土産	訪問意向	居住意向
		富良野市全体	1.277	0.193	0.500	0.690	0.657	1.197	-0.457
性別	1	男性(46.7%)	1.014	0.143	0.357	0.536	0.507	0.964	-0.321
	2	女性(53.3%)	1.506	0.238	0.625	0.825	0.788	1.400	-0.575
年代	1	10代(7.7%)	1.130	0.348	0.870	0.478	1.043	1.174	0.000
	2	20代(19.0%)	1.123	0.404	0.544	0.719	0.789	1.123	-0.596
	3	30代(23.7%)	1.563	0.169	0.620	0.634	0.690	1.197	-0.549
	4	40代(20.7%)	1.387	0.194	0.339	0.871	0.629	1.403	-0.419
	5	50代(19.0%)	1.211	0.035	0.474	0.719	0.596	1.158	-0.211
	6	60代(8.3%)	0.920	0.040	0.240	0.480	0.160	1.000	-1.000
	7	70代以上(1.7%)	0.800	0.000	0.200	0.600	0.400	1.000	-0.200
居住地	1	東北(3.7%)	1.273	-0.182	0.000	0.182	0.545	1.182	-0.091
	2	関東(57.0%)	1.281	0.275	0.480	0.731	0.731	1.205	-0.520
	3	中部(13.7%)	1.341	0.146	0.415	0.561	0.415	1.049	-0.512
	4	近畿(19.0%)	1.228	0.193	0.649	0.754	0.614	1.281	-0.333
	5	中国・四国(3.0%)	1.111	0.000	0.556	0.778	0.444	1.000	-0.222
	6	九州・沖縄(3.7%)	1.364	-0.364	0.818	0.636	0.909	1.364	-0.455
累積滞在(居住)期間	1	1週間未満(16.7%)	1.480	0.220	0.760	0.780	0.800	1.340	-0.300
	2	1週間～2週間未満(25.9%)	1.173	0.347	0.693	0.667	0.613	1.160	-0.693
	3	2週間～1ヶ月未満(24.3%)	1.356	0.233	0.548	0.753	0.671	1.342	-0.479
	4	1ヶ月～半年未満(15.3%)	1.391	0.065	0.283	0.739	0.630	1.130	-0.370
	5	半年～1年未満(3.7%)	1.091	0.091	0.364	0.636	0.455	1.091	-0.273
	6	1年～5年未満(9.0%)	1.185	0.333	0.370	0.481	0.741	1.259	-0.185
	7	5年～10年未満(2.7%)	1.125	-0.375	0.000	1.000	1.000	0.750	-0.250
	8	10年以上(3.3%)	0.500	-0.600	-0.700	0.100	0.000	0.300	-0.800

14. ニセコ（ニセコ町・倶知安町）

総合評価で第8位となったニセコは、特に、訪問経験がある人はない人に比べて「自然や風景の魅力」の評価が高い。また、「宿泊の魅力」や「訪問意向」での高い得点を獲得している。一方で、「食の魅力」はあまり得点が高くなく、生産地としてのイメージが定着してないことを感じさせる。また、「街並みの魅力」や「買物・土産品の魅力」の得点も低くとどまっている。

	訪問経験有	訪問経験無	得点差(有-無)
自然風景	171.9	88.2	83.7
食	24.2	-16.8	41.0
街並み	32.3	10.6	21.7
宿泊	106.2	67.9	38.2
買物・土産	47.3	27.4	20.0
訪問意向	144.2	104.1	40.1
居住意向	-98.1	-142.9	44.9

レーダーチャートでも同様の結果が分かる。



属性別評価では、各属性別でもっとも高い得点を得た要素は「自然や風景の魅力」と「訪問意向」の2項目のみとなっている。

			自然風景	食	街並み	宿泊	買物土産品	訪問意向	居住意向
		ニセコ(ニセコ町・倶知安町)全体	0.830	0.007	0.133	0.563	0.240	0.810	-0.823
性別	1	男性(46.7%)	0.729	-0.029	-0.014	0.500	0.186	0.800	-0.586
	2	女性(53.3%)	0.919	0.038	0.263	0.619	0.288	0.819	-1.031
年代	1	10代(7.7%)	0.478	0.000	0.174	0.522	0.174	1.000	-0.435
	2	20代(19.0%)	0.912	0.053	0.070	0.474	0.333	0.789	-0.877
	3	30代(23.7%)	0.789	0.000	0.155	0.479	0.282	0.789	-0.845
	4	40代(20.7%)	1.145	0.000	0.113	0.790	0.194	0.952	-0.855
	5	50代(19.0%)	0.772	-0.105	0.140	0.649	0.228	0.754	-0.684
	6	60代(8.3%)	0.480	0.160	0.280	0.400	0.120	0.600	-1.200
	7	70代以上(1.7%)	0.600	0.200	-0.200	0.000	0.200	0.400	-1.000
居住地	1	東北(3.7%)	0.545	-0.364	-0.364	0.000	0.000	0.273	-0.636
	2	関東(57.0%)	0.930	0.023	0.053	0.567	0.246	0.895	-0.947
	3	中部(13.7%)	0.439	-0.024	0.171	0.439	0.171	0.561	-0.854
	4	近畿(19.0%)	0.947	0.070	0.421	0.877	0.368	1.000	-0.526
	5	中国・四国(3.0%)	0.889	0.000	0.333	0.333	0.111	0.556	-0.556
	6	九州・沖縄(3.7%)	0.364	-0.091	0.091	0.091	0.091	0.182	-0.727
累積滞在(居住)期間	1	1週間未満(16.7%)	1.040	0.000	0.420	0.840	0.560	1.100	-0.640
	2	1週間～2週間未満(25.9%)	0.813	0.147	0.213	0.480	0.227	0.680	-0.987
	3	2週間～1ヶ月未満(24.3%)	0.753	0.068	0.192	0.603	0.233	0.863	-0.959
	4	1ヶ月～半年未満(15.3%)	0.761	-0.109	-0.043	0.391	0.196	0.696	-0.804
	5	半年～1年未満(3.7%)	0.909	-0.091	0.091	0.545	0.182	0.636	-0.455
	6	1年～5年未満(9.0%)	0.963	-0.074	-0.037	0.630	-0.037	0.889	-0.593
	7	5年～10年未満(2.7%)	0.750	0.000	-0.125	0.750	0.500	1.125	-0.625
	8	10年以上(3.3%)	0.400	-0.600	-0.800	0.000	-0.400	0.200	-0.800

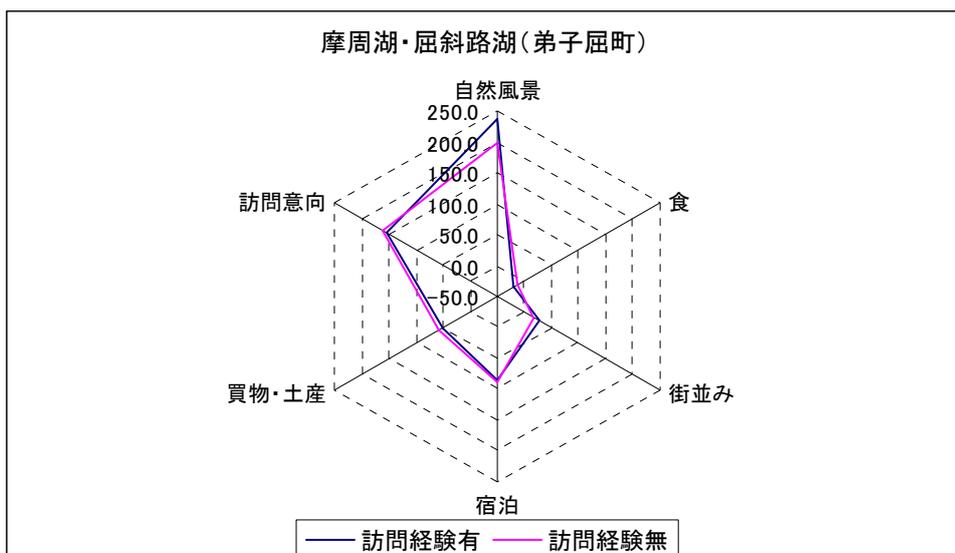
15. 摩周湖・屈斜路湖（弟子屈町）

摩周湖・屈斜路湖は総合評価で第6位となっている。「自然や風景の魅力」の得点は高いものの、「食の魅力」では訪問経験がある人もない人もマイナスの得点で、訪問経験のある人の評価がない人の評価を下回っている。訪問経験のある人がない人の得点を下回っている点では、「宿泊の魅力」「買物・土産の魅力」も同様である。認知度が高いと想定

	訪問経験有	訪問経験無	得点差(有-無)
自然風景	237.5	198.9	38.6
食	-19.6	-14.8	-4.9
街並み	26.8	18.2	8.6
宿泊	84.8	89.8	-5.0
買物・土産	50.9	58.0	-7.1
訪問意向	154.5	163.6	-9.2
居住意向	-140.2	-155.7	15.5

される摩周湖の場合、実際に訪問した人は湖の眺めを鑑賞し、次の訪問地へ移動という行動が予測されるため、宿泊するというイメージになかなかとどり着かないということが考えられる。また、「買物・土産の魅力」は、訪問することで、予想よりもよくなかったと感じている人がいると推測される。

レーダーチャートを見ると、「自然や風景の魅力」と「訪問意向」に得点が偏っており、そのほかの要素は低くとどまっていることが分かる。摩周湖の認知度が高く、自然の魅力が広く知れ渡っていることが推測される。



属性別評価では、「自然や風景の魅力」の項目に対してのみ、得点が集中した。

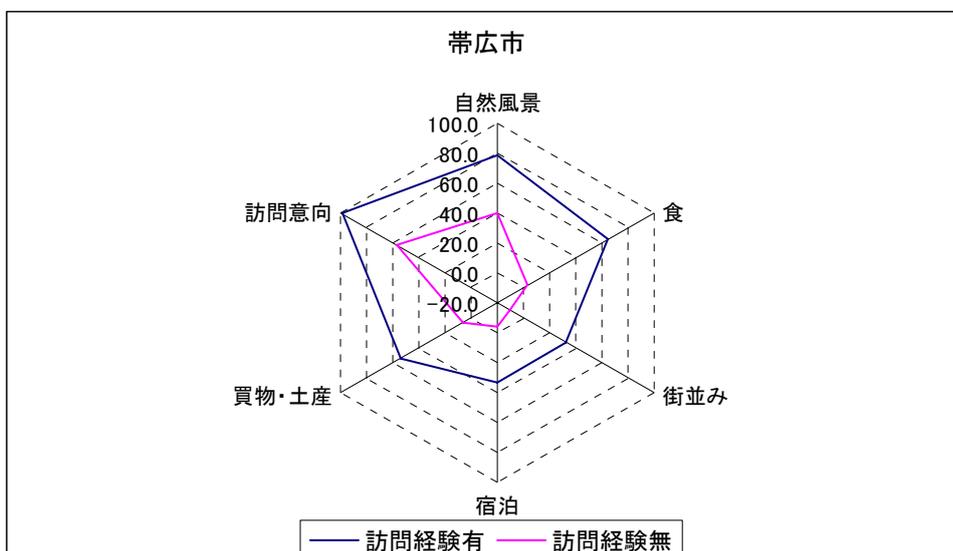
			自然風景	食	街並み	宿泊	買物土産品	訪問意向	居住意向
		摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)全体	1.470	-0.117	0.153	0.580	0.360	1.057	-0.980
性別	1	男性(46.7%)	1.450	-0.136	0.007	0.607	0.414	1.079	-0.721
	2	女性(53.3%)	1.488	-0.100	0.281	0.556	0.313	1.038	-1.206
年代	1	10代(7.7%)	1.130	0.043	0.391	0.565	0.609	0.739	-0.696
	2	20代(19.0%)	1.491	-0.140	0.070	0.351	0.456	1.035	-1.000
	3	30代(23.7%)	1.366	-0.380	0.113	0.324	0.268	0.859	-1.155
	4	40代(20.7%)	1.565	-0.065	0.032	0.758	0.323	1.210	-1.081
	5	50代(19.0%)	1.684	-0.053	0.211	0.930	0.368	1.263	-0.754
	6	60代(8.3%)	1.280	0.160	0.400	0.600	0.200	1.120	-1.040
	7	70代以上(1.7%)	1.600	0.400	0.200	0.600	0.600	1.000	-0.600
居住地	1	東北(3.7%)	1.182	-0.364	-0.455	0.364	-0.091	0.818	-0.909
	2	関東(57.0%)	1.433	-0.082	0.129	0.620	0.386	1.088	-1.053
	3	中部(13.7%)	1.488	-0.146	0.122	0.244	0.293	0.878	-1.000
	4	近畿(19.0%)	1.596	-0.158	0.333	0.807	0.456	1.211	-0.825
	5	中国・四国(3.0%)	1.556	0.111	0.222	0.333	0.111	0.778	-0.667
	6	九州・沖縄(3.7%)	1.545	-0.273	0.273	0.455	0.364	0.909	-0.909
累積滞在(居住)期間	1	1週間未満(16.7%)	1.460	-0.200	0.300	0.420	0.420	1.120	-0.940
	2	1週間～2週間未満(25.9%)	1.373	-0.040	0.253	0.413	0.360	0.827	-1.147
	3	2週間～1ヶ月未満(24.3%)	1.562	0.000	0.247	0.685	0.384	1.178	-1.082
	4	1ヶ月～半年未満(15.3%)	1.457	-0.196	-0.152	0.696	0.217	1.283	-0.978
	5	半年～1年未満(3.7%)	1.545	0.000	0.000	0.636	0.364	0.727	-0.364
	6	1年～5年未満(9.0%)	1.556	-0.148	0.296	0.852	0.407	1.074	-0.704
	7	5年～10年未満(2.7%)	1.500	-0.250	-0.250	0.500	0.875	0.750	-0.625
	8	10年以上(3.3%)	1.300	-0.700	-0.500	0.600	0.000	1.100	-0.900

16. 帯広市

総合評価で第 18 位の帯広市は、訪問経験のある人がない人の得点をすべての項目で上回っており、訪問することで、イメージがアップする地域と考えられる。「食の魅力」は得点差がもっとも大きく、また、もっとも得点差が小さい「自然や風景の魅力」でも約 40 点差となっており、すべての項目で比較的均等に評価が高まっていることを感じさせる。

	訪問経験有	訪問経験無	得点差(有-無)
自然風景	79.2	40.2	39.0
食	63.7	2.3	61.4
街並み	32.5	-10.1	42.6
宿泊	34.0	-3.9	37.8
買物・土産	53.8	6.2	47.6
訪問意向	99.1	57.2	41.8
居住意向	-92.0	-136.9	44.9

レーダーチャートでは、訪問した人がしない人よりも得点が高くなっており、さらに各項目でバランスよく得点がアップしていることが分かる。訪問経験がある人の得点は、各項目のバランスもよい。今後は、訪問経験のない人に対して、地域の魅力を積極的に伝えていくことが望まれる。



属性別評価では、中国・四国、九州・沖縄居住者と累積滞在（在住）期間が1カ月～半年未満の対象者で「自然や景観の魅力」の得点がもっとも高く、さらに累積滞在（在住）期間が半年～1年未満の人では「買物や土産品の魅力」の得点が高かった。それ以外では、「訪問意向」の得点が高かった。

			自然風景	食	街並み	宿泊	買物土産品	訪問意向	居住意向
		帯広市全体	0.360	0.160	0.033	0.063	0.153	0.480	-0.807
性別	1	男性(46.7%)	0.264	0.150	0.071	0.093	0.150	0.400	-0.650
	2	女性(53.3%)	0.444	0.169	0.000	0.038	0.156	0.550	-0.944
年代	1	10代(7.7%)	0.435	0.348	0.348	0.261	0.217	0.478	-0.174
	2	20代(19.0%)	0.263	0.158	-0.105	-0.070	0.211	0.491	-0.789
	3	30代(23.7%)	0.465	0.155	0.099	0.028	0.113	0.493	-1.014
	4	40代(20.7%)	0.339	0.113	-0.081	0.065	0.129	0.532	-0.887
	5	50代(19.0%)	0.404	0.140	0.070	0.158	0.123	0.474	-0.719
	6	60代(8.3%)	0.200	0.160	0.080	0.080	0.160	0.320	-0.840
	7	70代以上(1.7%)	0.200	0.200	0.000	0.000	0.400	0.400	-0.800
居住地	1	東北(3.7%)	0.091	-0.091	-0.273	-0.273	-0.091	0.636	-0.818
	2	関東(57.0%)	0.339	0.246	0.006	0.082	0.211	0.503	-0.825
	3	中部(13.7%)	0.415	0.146	0.098	0.024	0.073	0.585	-0.829
	4	近畿(19.0%)	0.386	0.000	0.158	0.123	0.140	0.491	-0.807
	5	中国・四国(3.0%)	0.667	0.111	-0.111	-0.111	0.111	0.111	-0.667
	6	九州・沖縄(3.7%)	0.364	0.000	0.000	0.091	-0.091	-0.182	-0.545
累積滞在(居住期間)	1	1週間未満(16.7%)	0.480	0.060	0.080	-0.020	0.100	0.600	-0.820
	2	1週間～2週間未満(25.9%)	0.347	0.160	0.053	0.027	0.120	0.360	-0.947
	3	2週間～1ヶ月未満(24.3%)	0.288	0.178	0.000	0.151	0.123	0.493	-0.945
	4	1ヶ月～半年未満(15.3%)	0.457	0.087	0.022	0.239	0.239	0.435	-0.652
	5	半年～1年未満(3.7%)	0.091	0.364	0.091	0.000	0.545	0.273	-0.455
	6	1年～5年未満(9.0%)	0.519	0.222	0.037	-0.148	-0.037	0.593	-0.556
	7	5年～10年未満(2.7%)	0.250	0.750	0.250	0.375	0.750	0.875	-0.125
	8	10年以上(3.3%)	-0.100	0.000	-0.300	-0.300	0.100	0.500	-1.000

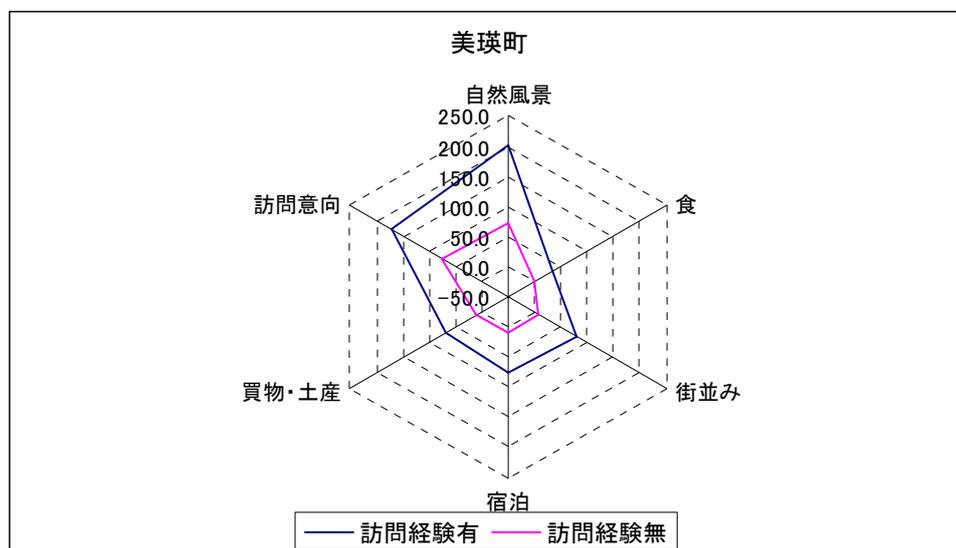
17. 美瑛町

総合評価で第11位となった美瑛町は、特に「自然や風景の魅力」の評価が高く、訪問経験のある人とない人の得点差もこの項目がもっとも大きい。一方、「食の魅力」は他の項目と比較して得点差が低い。しかし、「訪問意向」や「街並みの魅力」「宿泊の魅力」など、すべての項目で訪問経験のある人がない人の評価を上回り、一度訪問することで、全般的にイメージがアップする地域と考えられる。

レーダーチャートでも各項目で訪問経験のある人がない人の得点を大きく上回っていることが分かる。訪問経験のある人では、「自然や風景の魅力」と「訪問意向」の得点が高く、今後は

「食の魅力」「街並みの魅力」「宿泊の魅力」「買物・土産品の魅力」など、リピーターにつながるような他の要素の魅力アップにも期待したい。

	訪問経験有	訪問経験無	得点差(有-無)
自然風景	201.9	73.1	128.8
食	33.6	-0.8	34.4
街並み	78.5	7.0	71.5
宿泊	74.3	7.8	66.5
買物・土産	68.7	10.1	58.6
訪問意向	169.6	75.4	94.2
居住意向	-54.7	-146.9	92.2



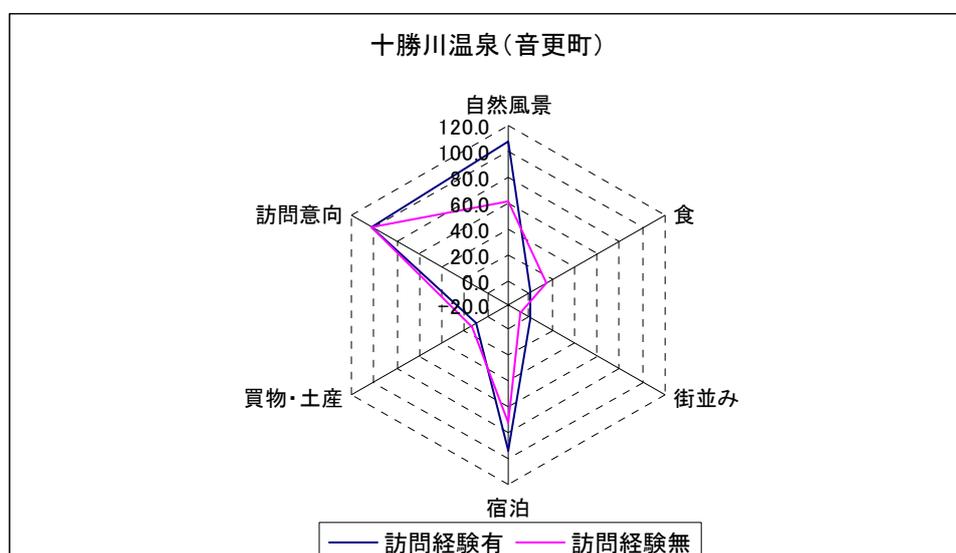
属性別評価では、九州・沖縄居住者で「街並みの魅力」の得点をもっとも高いほかは、「自然や風景の魅力」と「訪問意向」での得点が高かった。

			自然風景	食	街並み	宿泊	買物土産品	訪問意向	居住意向
		美瑛町全体	0.793	0.077	0.217	0.210	0.207	0.727	-0.760
性別	1	男性(46.7%)	0.586	0.014	0.079	0.193	0.150	0.557	-0.664
	2	女性(53.3%)	0.975	0.131	0.338	0.225	0.256	0.875	-0.844
年代	1	10代(7.7%)	0.391	-0.043	0.391	0.217	0.130	0.522	-0.609
	2	20代(19.0%)	0.737	0.228	0.246	0.000	0.368	0.719	-0.842
	3	30代(23.7%)	0.873	0.042	0.451	0.254	0.239	0.761	-0.732
	4	40代(20.7%)	1.032	0.113	-0.016	0.355	0.242	0.855	-0.710
	5	50代(19.0%)	0.877	0.018	0.123	0.298	0.140	0.684	-0.649
	6	60代(8.3%)	0.440	0.120	0.240	0.080	-0.040	0.640	-1.120
	7	70代以上(1.7%)	0.000	-0.600	-0.400	-0.200	-0.200	0.600	-1.000
居住地	1	東北(3.7%)	0.636	0.091	-0.455	-0.182	-0.182	0.455	-0.545
	2	関東(57.0%)	0.801	0.117	0.158	0.257	0.246	0.801	-0.848
	3	中部(13.7%)	0.780	-0.073	0.366	0.073	0.171	0.659	-0.805
	4	近畿(19.0%)	0.737	0.070	0.263	0.298	0.211	0.684	-0.632
	5	中国・四国(3.0%)	1.111	-0.111	0.222	0.111	0.444	0.778	-0.111
	6	九州・沖縄(3.7%)	0.909	0.182	1.000	0.000	-0.091	0.273	-0.636
累積滞在(居住)期間	1	1週間未満(16.7%)	0.820	0.160	0.460	0.300	0.320	1.000	-0.600
	2	1週間～2週間未満(25.9%)	0.667	0.213	0.293	0.120	0.253	0.427	-1.040
	3	2週間～1ヶ月未満(24.3%)	1.055	0.164	0.288	0.288	0.274	0.918	-0.822
	4	1ヶ月～半年未満(15.3%)	0.870	-0.109	0.022	0.283	0.109	0.783	-0.457
	5	半年～1年未満(3.7%)	0.455	0.000	0.091	0.273	0.091	0.545	-0.545
	6	1年～5年未満(9.0%)	0.593	-0.185	0.111	-0.074	0.037	0.815	-0.741
	7	5年～10年未満(2.7%)	0.875	0.125	-0.125	0.375	0.000	0.750	-0.625
	8	10年以上(3.3%)	0.200	-0.400	-0.500	0.100	0.000	-0.100	-0.800

18. 十勝川温泉（音更町）

十勝川温泉は、総合で第 15 位となっている。特に「食の魅力」と「買物・土産の魅力」では、訪問経験のある人がない人の評価を下回り、訪問したことでマイナスに転じ、訪問することで印象を悪くする要素といえる。消費を伴う分野であるだけに、今後の経済効果を高めるためにも検討が必要であろう。「自然や風景の魅力」や「宿泊の魅力」、「訪問意向」では一定の評価があるものの、そのほかの項目は評価が低く、レーダーチャートでは、各項目のバランスの悪さがうかがえる。

	訪問経験有	訪問経験無	得点差(有-無)
自然風景	106.8	60.4	46.4
食	0.0	14.9	-14.9
街並み	0.0	-9.3	9.3
宿泊	94.1	72.2	21.9
買物・土産	7.6	12.4	-4.8
訪問意向	101.7	100.8	0.9
居住意向	-109.3	-145.0	35.7



属性別評価では、10代で「宿泊の魅力」が、九州・沖縄居住者と累積滞在（居住）期間が半年～1年未満の対象者で「自然や風景の魅力」が、累積滞在（居住）期間が1年以上の対象者で「宿泊の魅力」がもっとも得点が高い。そのほかは「訪問意向」の得点が高かった。

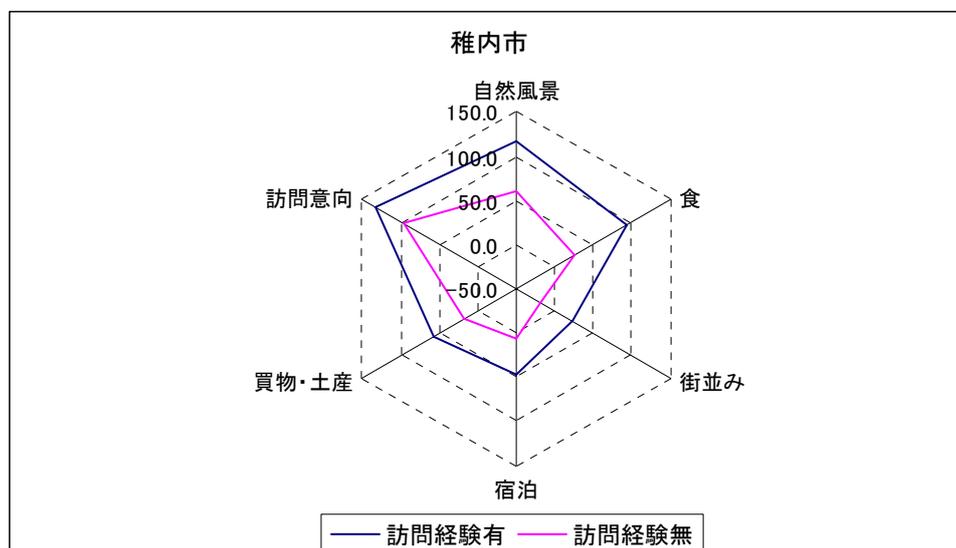
			自然風景	食	街並み	宿泊	買物土産	訪問意向	居住意向
		十勝川温泉(音更町)全体	0.463	0.080	-0.050	0.510	0.077	0.673	-0.920
性別	1	男性(46.7%)	0.364	0.014	-0.114	0.500	0.064	0.543	-0.764
	2	女性(53.3%)	0.550	0.138	0.006	0.519	0.088	0.788	-1.056
年代	1	10代(7.7%)	0.609	0.304	0.174	0.739	0.304	0.696	-0.391
	2	20代(19.0%)	0.368	0.246	-0.018	0.333	0.193	0.684	-1.000
	3	30代(23.7%)	0.577	-0.099	-0.028	0.535	0.042	0.690	-1.000
	4	40代(20.7%)	0.452	0.048	-0.226	0.597	-0.065	0.645	-0.952
	5	50代(19.0%)	0.474	0.088	-0.035	0.544	0.105	0.702	-0.807
	6	60代(8.3%)	0.320	0.200	0.120	0.480	0.080	0.600	-1.160
	7	70代以上(1.7%)	0.000	-0.600	-0.600	-0.200	-0.400	0.600	-1.000
居住地	1	東北(3.7%)	0.182	-0.182	-0.545	0.000	-0.182	0.455	-0.909
	2	関東(57.0%)	0.503	0.117	-0.070	0.573	0.129	0.754	-0.971
	3	中部(13.7%)	0.341	0.122	0.073	0.366	0.122	0.659	-0.902
	4	近畿(19.0%)	0.456	-0.018	-0.018	0.596	0.035	0.614	-0.877
	5	中国・四国(3.0%)	0.333	0.111	0.111	0.111	0.000	0.778	-0.556
	6	九州・沖縄(3.7%)	0.727	0.091	0.000	0.455	-0.364	-0.091	-0.727
累積滞在(居住)期間	1	1週間未満(16.7%)	0.740	0.240	0.060	0.460	0.280	1.060	-0.820
	2	1週間～2週間未満(25.9%)	0.373	0.200	0.080	0.493	0.040	0.600	-1.120
	3	2週間～1ヶ月未満(24.3%)	0.425	0.055	-0.041	0.534	0.068	0.699	-1.000
	4	1ヶ月～半年未満(15.3%)	0.435	-0.022	-0.087	0.565	0.087	0.652	-0.891
	5	半年～1年未満(3.7%)	0.636	0.364	-0.182	0.455	-0.091	0.364	-0.545
	6	1年～5年未満(9.0%)	0.333	-0.037	-0.185	0.444	0.037	0.407	-0.704
	7	5年～10年未満(2.7%)	0.625	-0.125	-0.375	0.875	0.250	0.625	-0.500
	8	10年以上(3.3%)	0.200	-0.800	-0.700	0.400	-0.500	0.300	-0.800

19. 稚内市

総合評価で第16位となった稚内市は、「食の魅力」で訪問経験のある人となない人の得点差がもっとも大きく、訪問することでイメージがアップする要素と考えられる。また、そのほかの項目でも、訪問経験のある人がない人の得点をすべて上回り、訪問することが好印象につながる地域と考えられる。訪問経験の有無による得点差は30～70点の間と、訪問することで各項目で、安定的なイメージアップを図られると考えられる。

レーダーチャートでは、訪問経験があることで得点がバランスよく高くなっていること、また、各項目間の得点差はあまり大きくなく、全項目がバランスよく評価されていることが分かる。

	訪問経験有	訪問経験無	得点差(有-無)
自然風景	115.8	59.7	56.1
食	93.0	24.4	68.6
街並み	20.9	-19.0	39.9
宿泊	45.6	5.4	40.1
買物・土産	55.1	17.6	37.4
訪問意向	132.9	95.0	37.9
居住意向	-123.4	-155.4	32.0



属性別評価では、九州・沖縄居住者と累積滞在期間が5年以上の対象者で「自然や風景の魅力」での得点がもっとも高く、それ以外では「訪問経験」の得点が高かった。

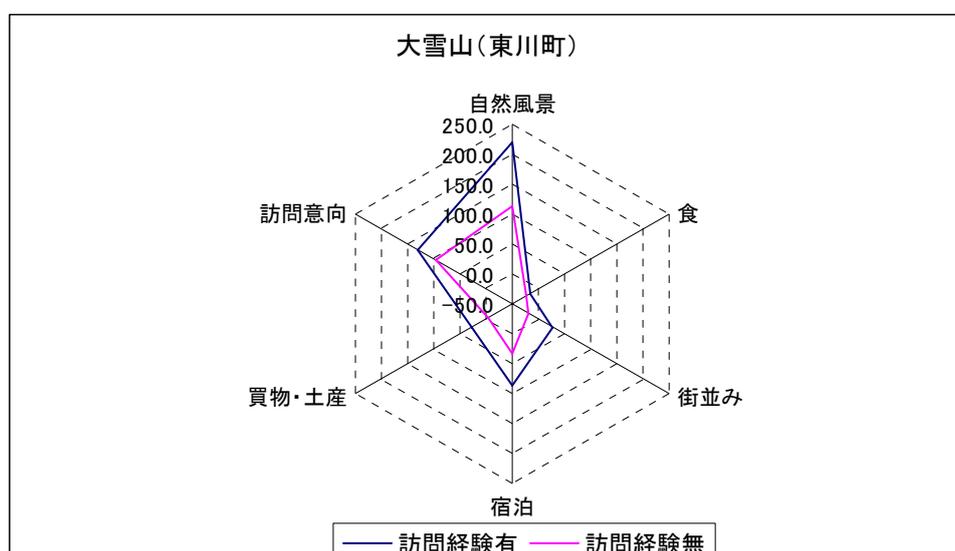
			自然風景	食	街並み	宿泊	買物土産品	訪問意向	居住意向
		稚内市全体	0.497	0.283	-0.057	0.107	0.183	0.700	-0.980
性別	1	男性(46.7%)	0.479	0.350	-0.079	0.129	0.250	0.779	-0.793
	2	女性(53.3%)	0.513	0.225	-0.038	0.088	0.125	0.631	-1.144
年代	1	10代(7.7%)	0.609	0.391	0.130	0.174	0.261	0.826	-0.565
	2	20代(19.0%)	0.526	0.281	-0.246	0.035	0.211	0.684	-0.912
	3	30代(23.7%)	0.366	0.211	0.042	-0.056	0.085	0.479	-1.085
	4	40代(20.7%)	0.726	0.290	-0.145	0.210	0.161	0.919	-0.984
	5	50代(19.0%)	0.491	0.474	0.053	0.386	0.333	0.596	-0.982
	6	60代(8.3%)	0.240	0.080	-0.040	-0.120	0.120	1.000	-1.200
	7	70代以上(1.7%)	0.000	-0.400	-0.400	-0.400	-0.200	0.400	-1.000
居住地	1	東北(3.7%)	0.273	0.000	-0.455	-0.364	-0.182	0.364	-1.091
	2	関東(57.0%)	0.556	0.380	-0.111	0.129	0.234	0.766	-0.982
	3	中部(13.7%)	0.317	0.024	0.000	-0.049	0.220	0.537	-1.049
	4	近畿(19.0%)	0.421	0.316	0.035	0.228	0.140	0.772	-1.018
	5	中国・四国(3.0%)	0.556	0.333	0.222	0.222	0.222	0.889	-0.111
	6	九州・沖縄(3.7%)	0.818	-0.182	0.273	0.091	-0.182	0.091	-1.091
累積滞在(居住)期間	1	1週間未満(16.7%)	0.460	-0.040	-0.060	0.080	0.020	0.580	-0.860
	2	1週間～2週間未満(25.9%)	0.440	0.360	-0.080	0.093	0.160	0.520	-1.147
	3	2週間～1ヶ月未満(24.3%)	0.397	0.370	-0.068	0.014	0.164	0.849	-1.068
	4	1ヶ月～半年未満(15.3%)	0.457	0.435	0.130	0.304	0.348	0.826	-0.804
	5	半年～1年未満(3.7%)	1.091	0.636	-0.091	0.545	0.727	1.273	-0.455
	6	1年～5年未満(9.0%)	0.778	0.185	0.000	0.037	0.185	0.852	-0.926
	7	5年～10年未満(2.7%)	0.625	0.125	-0.125	0.250	0.375	0.500	-1.000
	8	10年以上(3.3%)	0.500	0.000	-0.700	-0.300	-0.200	0.100	-1.200

20. 大雪山（東川町）

総合評価で第 17 位の大雪山は、特に「自然や風景の魅力」の評価が高く、訪問経験のある人ではない人よりも 100 点以上の得点差をつけた。「食の魅力」の評価は訪問経験の有無にかかわらず、マイナス得点で評価は低いが、登山のイメージが強く、食に対するイメージがあまり沸かない地域なのではないかと考えられる。

	訪問経験有	訪問経験無	得点差(有-無)
自然風景	221.5	112.3	109.2
食	-16.2	-24.3	8.1
街並み	25.4	-20.4	45.8
宿泊	85.4	31.9	53.5
買物・土産	27.7	-4.5	32.2
訪問意向	129.2	95.7	33.5
居住意向	-177.7	-171.7	-6.0

レーダーチャートを見ても「自然や風景の魅力」の得点が高くと高く、次いで「訪問意向」となっており、「食の魅力」や「街並みの魅力」「宿泊の魅力」「買物・土産の魅力」などの要素の得点は低くとどまり、項目間でのバランスがよくないことが分かる。



属性別評価では、60代、東北と中国・四国の居住者で「訪問意向」の得点が高かったものの、それ以外では「自然や風景の魅力」の得点が高かった。

		自然風景	食	街並み	宿泊	買物土産品	訪問意向	居住意向	
		大雪山(東川町)全体	0.907	-0.150	-0.070	0.290	0.017	0.687	-1.153
性別	1	男性(46.7%)	0.921	-0.121	-0.114	0.293	0.086	0.721	-1.007
	2	女性(53.3%)	0.894	-0.175	-0.031	0.288	-0.044	0.656	-1.281
年代	1	10代(7.7%)	1.000	0.217	0.391	0.522	0.391	0.783	-0.870
	2	20代(19.0%)	0.789	-0.175	-0.105	0.228	0.000	0.614	-1.140
	3	30代(23.7%)	0.662	-0.352	-0.099	0.000	-0.155	0.507	-1.225
	4	40代(20.7%)	1.210	-0.161	-0.290	0.468	-0.016	0.839	-1.194
	5	50代(19.0%)	1.053	-0.018	0.000	0.561	0.193	0.807	-1.035
	6	60代(8.3%)	0.640	-0.120	0.080	0.000	-0.120	0.720	-1.400
	7	70代以上(1.7%)	1.200	-0.200	-0.200	0.200	0.000	0.200	-1.200
居住地	1	東北(3.7%)	0.273	-0.364	-0.545	-0.364	-0.455	0.273	-1.000
	2	関東(57.0%)	1.041	-0.123	-0.099	0.333	0.117	0.778	-1.216
	3	中部(13.7%)	0.585	-0.195	-0.146	-0.049	-0.195	0.537	-1.146
	4	近畿(19.0%)	0.825	-0.140	0.070	0.509	-0.035	0.614	-1.035
	5	中国・四国(3.0%)	0.667	0.111	0.222	0.333	0.000	0.889	-0.556
	6	九州・沖縄(3.7%)	1.273	-0.455	0.182	0.364	0.000	0.455	-1.455
累積滞在(居住)期間	1	1週間未満(16.7%)	0.920	-0.140	-0.100	0.220	-0.100	0.620	-0.980
	2	1週間～2週間未満(25.9%)	0.747	-0.080	0.040	0.200	-0.067	0.640	-1.240
	3	2週間～1ヶ月未満(24.3%)	1.055	-0.137	0.000	0.315	0.082	0.767	-1.247
	4	1ヶ月～半年未満(15.3%)	0.935	-0.109	-0.087	0.500	0.087	0.804	-1.174
	5	半年～1年未満(3.7%)	1.182	0.091	0.182	0.727	0.364	0.909	-1.000
	6	1年～5年未満(9.0%)	0.778	-0.333	-0.222	0.148	0.037	0.667	-1.074
	7	5年～10年未満(2.7%)	0.750	-0.250	-0.375	0.250	0.250	0.250	-1.125
	8	10年以上(3.3%)	1.000	-0.700	-0.800	0.100	-0.200	0.400	-1.000

IV 都市地域と自然・温泉地域別の評価

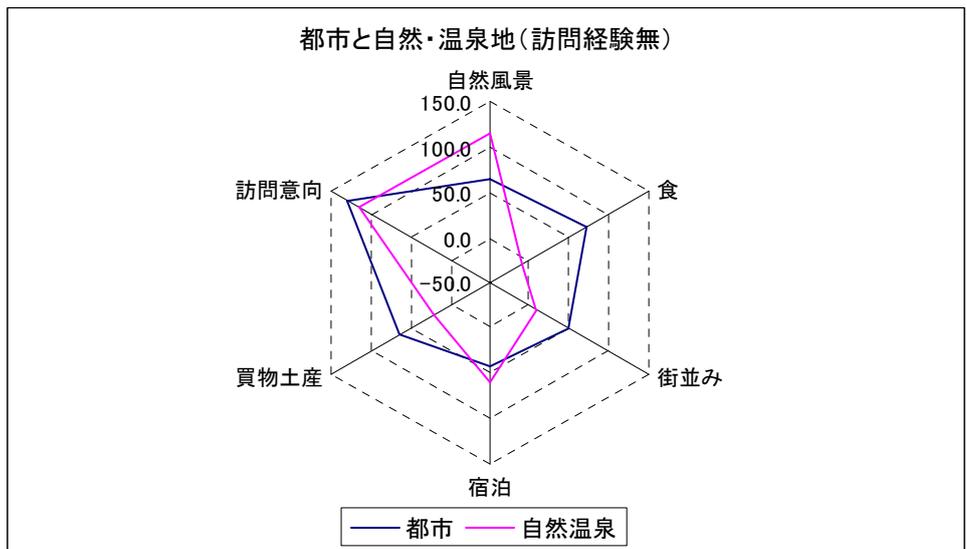
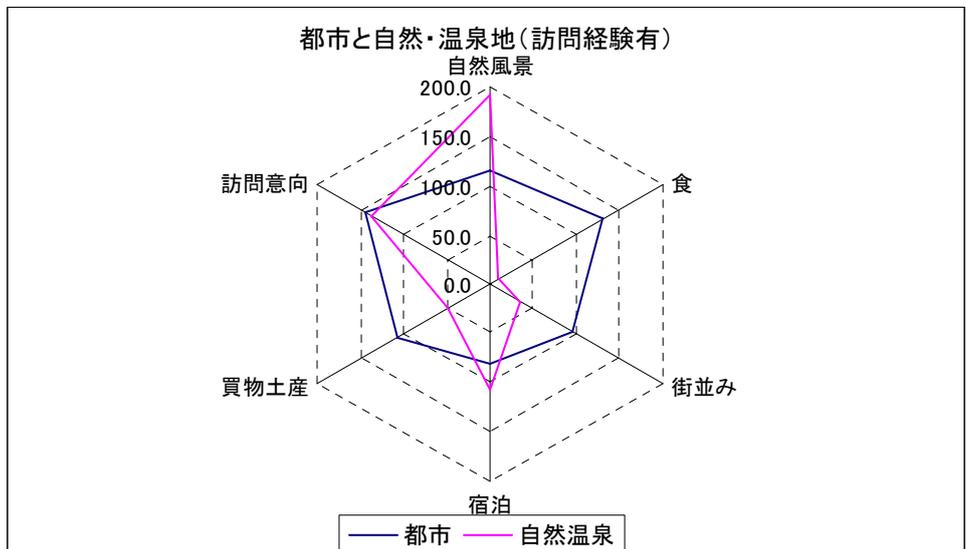
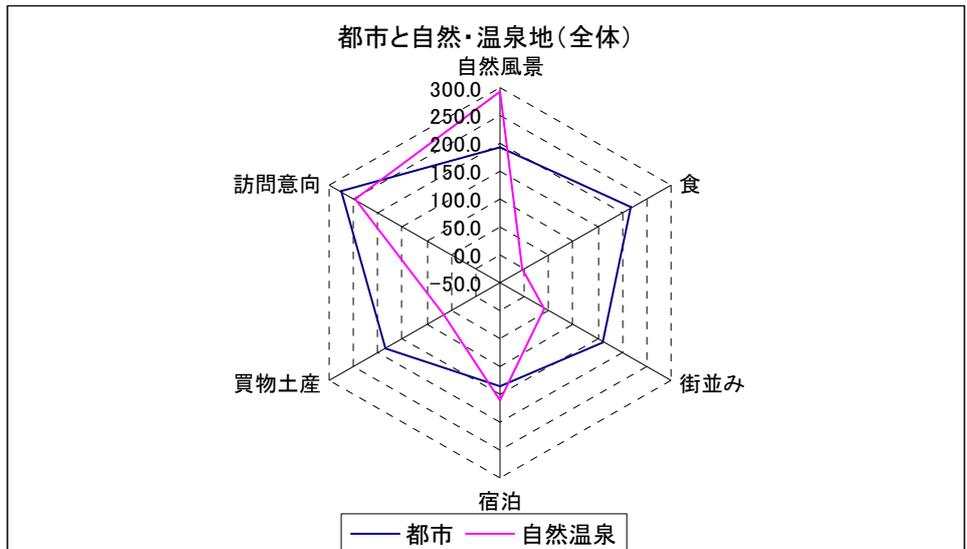
次に、対象となった20地域を都市地域と自然・温泉地域に分けて、その評価を見ていくこととする。都市地域<札幌市・函館市・小樽市・旭川市・網走市・釧路市・帯広市・稚内市>と、自然・温泉地域<大沼

都市と自然温泉地の比較

	総合(全体)	総合(訪問有)	総合(訪問無)
都市	996.4	605.9	311.3
自然温泉	518.3	404.8	156.2

公園(七飯町)・洞爺湖(虻田町・壮瞥町)・登別市・層雲峡温泉(上川町)・知床(斜里町)・阿寒湖温泉(阿寒町)・富良野市・ニセコ(ニセコ町・倶知安町)・摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)・美瑛町・十勝川温泉(音更町)・大雪山(東川町)の1地域当たりの平均得点は、上表のようになっており、いずれも都市地域の評価が高い。訪問経験がない人では都市地域の得点が自然・温泉地域の2倍近くになっている。自然や温泉などの魅力だけでは満足できず、都市と組み合わせることで、観光地としてのイメージアップが図られることが想定される。また、都市地域においては、自然・風景、食や街並み、買物・土産品など、都市観光としての多彩な魅力づくりが、観光地として生き残るかぎになっていくものと推察される。

項目別では、訪問経験の有無にかかわらず、自然・温泉地域は「自然や風景の魅力」と「宿泊の魅力」が都市地域を上回り、特に「自然や風景の魅力」の得点差が大きい。そのほかの項目では都市地域の得点が高く、特に自然・温泉地域における「食の魅力」で得点が低い。自然・温泉地域では食の魅力づくりが今後の課題といえる。

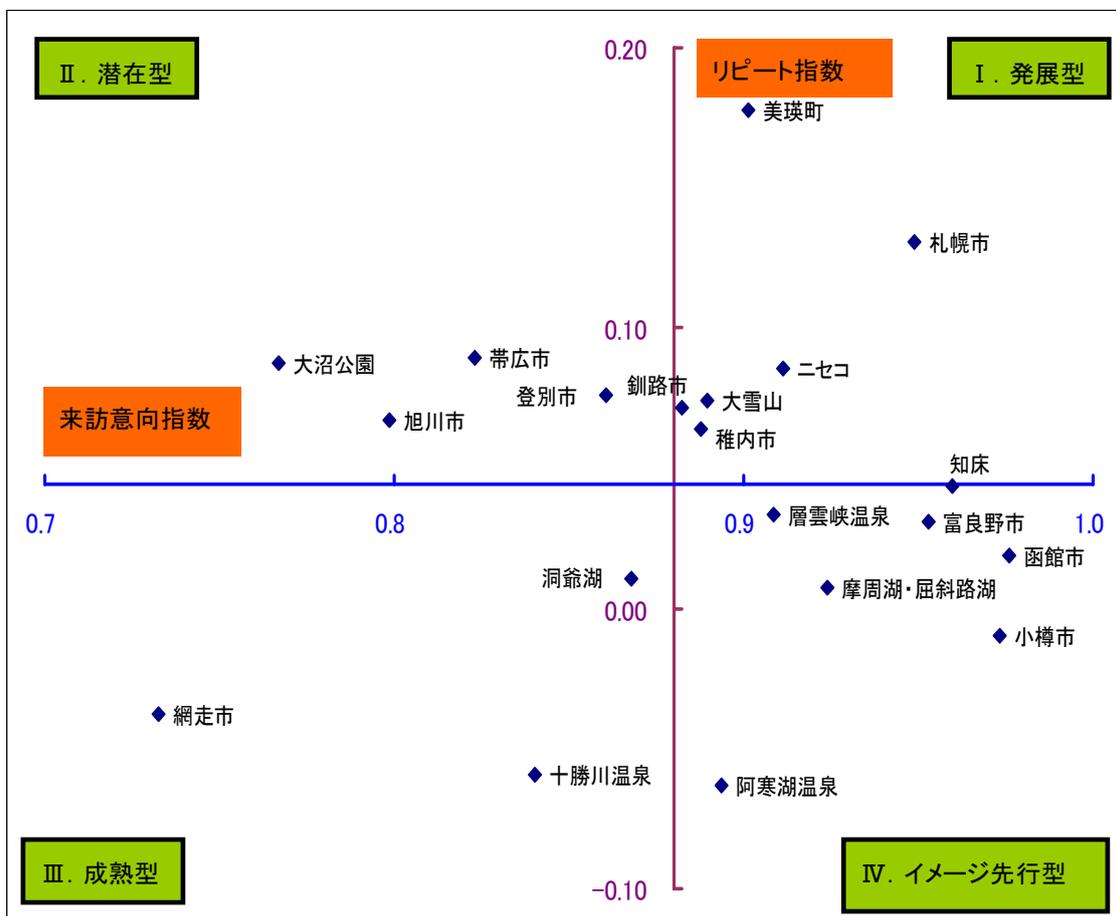


V 訪問意向による各地域のポジショニング

次に、対象地域への「訪問経験」の有無と「訪問意向」の評価をもとに、各地域の位置付けを検討していく。財団法人日本交通公社の『旅行者動向 2004』の「来訪意向による観光地のポジショニング」手法を用いて、今回の対象とした20地域のポジショニングを行った。

その方法は、対象地域への訪問意向をもとに「来訪意向指数」を算出し、さらに対象地の「訪問経験」のある人とない人の訪問意向の得点の差を「リピート指数」として算出し、この二つの指数によって、①すべての旅行者から評価が高く、加えて訪問経験がある人からの評価が、ない人の評価を上回る「発展型」、②訪問経験がある人からの評価が高いにもかかわらず、総合的な評価は伸び悩みが見られる「潜在型」、③全般に訪問意向があまり高くなく、特に訪問経験のある人からの意向が低い「成熟型」、④総じて評価は高いものの、訪問経験がある人からの評価がない人と比べて低く、実際の魅力以上に好イメージが持たれている「イメージ先行型」という四つのタイプで位置付けを行った。

発展型には、「札幌市」「美瑛町」「ニセコ（ニセコ町・倶知安町）」「釧路市」が挙げられ、総合魅力では上位であった「函館市」「小樽市」「富良野市」はイメージ先行型となった。また、「帯広市」「登別市」「大沼公園（七飯町）」「旭川市」などは潜在型、「洞爺湖（虻田町・壮瞥町）」「十勝川温泉（音更町）」「網走市」は発展型と位置付けられた。



$$\text{来訪意向得点} = \frac{2 \times X1 + X2}{2 \times X1 + X2 + X3 + 2 \times X4}$$

$$\text{来訪意向指数} = 0.7A + 0.3B$$

- X1：訪問意向5段階評価で最も高い5の評価をした回答者数
- X2：訪問意向5段階評価で4の評価をした回答者数
- X3：訪問意向5段階評価で2の評価をした回答者数
- X4：訪問意向5段階評価で最も低い1の評価をした回答者数

- A：「訪問経験」がある人の来訪意向得点
- B：「訪問経験」がない人の来訪意向得点

「リピート指数」
その地域への「訪問経験がある人の来訪意向得点」と「訪問経験がない人の来訪意向得点」の差。値が大きいくほど、「イメージより実際の方が素晴らしい」地域となり、マイナスの値が大きいくほど“実際に行ってみると期待ほどではなかった”地域となる。

$$\text{リピート指数} = A - B$$

VI 観光地としての項目別魅力度

最後に、対象地域における全体での評価得点の偏差値を割り出し、70 点以上を5つ星、60 点台を4つ星、50 点台を3つ星、40 点台を2つ星、30 点台以下を1つ星として、星マーク評価を以下にまとめてみた。

地域名	自然風景	食	街並み	宿泊	買物・土産	訪問意向
札幌市	★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★
函館市	★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★
小樽市	★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★
旭川市	★	★★★★	★★	★	★★	★★
大沼公園(七飯町)	★★	★★	★★	★	★	★
洞爺湖(虻田町・壮瞥町)	★★★★	★★	★★	★★★★	★★	★★
登別市	★★	★★	★★	★★★★	★★	★★
層雲峡温泉(上川町)	★★★★	★★	★★	★★★★	★★	★★
知床(斜里町)	★★★★★	★★★★	★★	★★★★	★★	★★★★
網走市	★★	★★	★★	★	★★	★
阿寒湖温泉(阿寒町)	★★★★	★★	★★	★★★★	★★	★★★★
釧路市	★★	★★★★	★★	★★	★★	★★
富良野市	★★★★★	★★	★★★★	★★★★	★★★★	★★★★★
二セコ(二セコ町・倶知安町)	★★	★★	★★	★★★★	★★	★★
摩周湖・屈斜路湖(弟子屈町)	★★★★★	★★	★★	★★★★	★★	★★★★
帯広市	★	★★	★★	★	★★	★
美瑛町	★★	★★	★★	★★	★★	★★
十勝川温泉(音更町)	★	★★	★★	★★★★	★★	★★
稚内市	★	★★★★	★★	★	★★	★★
大雪山(東川町)	★★★★	★★	★★	★★	★★	★★

Ⅶ 全体のまとめ

- ◎ 5段階評価を－2～2点で得点化したところ、マイナス得点となった項目がいくつかあるものの、全般的には、プラス得点となっており、対象とした20地域の魅力はすべて高い評価を得ていると考えられる。
- ◎ 対象とした20地域の中では、函館市、小樽市、札幌市の3都市の得点が圧倒的に高く、自然や景観、食、街並み、宿泊、買物・土産品の魅力と、各要素がバランスよく評価されており、都市のブランド力が相対的に高いことがうかがえる。
- ◎ 自然や景観面では、摩周湖・屈斜路湖、富良野市、知床の評価が高かった。
- ◎ 食の魅力の面では、評価得点が他の項目に比較して低いが、これは北海道の食に対する回答者の期待の高さを反映した結果と考えられる。
- ◎ 食の魅力の面では、特に温泉地域への評価が低く、今後の重要な検討課題といえる。
- ◎ 釧路市や稚内市、帯広市では実際に訪問することでイメージがアップしており、都市観光等発展の潜在可能性の高い地域と考えられる。
- ◎ 全般的に都市の評価が高く、都市地域では都市観光の魅力を増すこと、自然や温泉地域では都市観光との連携を図っていくことが需要である。また、都市と自然や温泉地域の魅力を峻別して、二つのタイプの地域が連携しながらも、もう一度行ってみたいと思えるようなリピーター確保の戦略を図っていくことが、観光地として生き残っていくかぎになると考えられる。
- ◎ 自然・温泉地域では、自然や景観、宿泊（温泉として）の魅力への評価が高い一方で、食や街並み、買物・土産品の魅力がやや低く、自然環境や温泉などの魅力のみに頼るのではなく、他の要素における魅力づくりが期待される。
- ◎ 住んでみたい意向については、観光地としての評価と相関があることが読み取れる。また、訪問することで住んでみたい意向が高まることから、今後、北海道への移住の取り組みに当たっては観光政策と連携で進めていくことが有効である。

本調査研究は釧路信用組合からの寄附金により地域経済研究センターの自主研究事業として実施されたものです。